猪名川町学校施設長寿命化計画

令和３（2021）年１月

猪名川町教育委員会

目　次

第１章　　学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1-1　背景・目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
1-2　計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1-3　計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
1-4　計画対象施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
1-5　計画対象施設の配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

第２章　　学校施設の目指すべき姿

2-1　学校施設の目指すべき姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

第３章　　学校施設の実態

3-1　学校施設の運営状況・活用状況等の実態・・・・・・・・・・・・・・・7
　3-1-1　学校施設一覧
　3-1-2　児童数等及び学級数の推移
　3-1-3　児童数等及び学級数の予測
　3-1-4　教育環境の把握
　3-1-5　施設の関連経費の推移
　3-1-6　施設の築年別整備状況（計画対象施設）
　3-1-7　学校施設の活用状況
　3-1-8　施設のトイレ状況の実態
3-2　対象建物の現状と評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
　3-2-1　構造躯体及び構造躯体以外の健全性の評価方法
　3-2-2　構造躯体及び構造躯体以外の健全性の評価
3-3　コスト面から見た今後の保全方法の検討・・・・・・・・・・・・・・・34

第４章　　学校施設整備の基本的な方針等

4-1　学校施設の規模・配置計画等の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・37
4-2　改修等の基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
　4-2-1　長寿命化の方針
　4-2-2　目標使用年数、改修周期の設定

第５章　　基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

５-１　改修等の整備水準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
５-２　維持管理の項目・手法等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
５-２-１　施設管理者が実施する点検
５-２-２　専門技術者が実施する点検（法定点検）

第６章　　長寿命化の実施計画

６-１　実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
６-２　長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果・・・・・・・・・・・・・48

第７章　　長寿命化計画の継続的運用方針

７-１　情報基盤の一元化と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
７-２　推進体制等の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
７-３　フォローアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50

第１章　学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1-1 背景・目的

猪名川町は町域の８割を占める兵庫県立自然公園などを背景に、町南部丘陵地は大規模な住宅地として開発が進み、緑とともに暮らす快適な住宅都市として発展してきました。

京阪神エリアのベッドタウンとして人口が増加し、平成27(2015)年度の国勢調査まで人口の増加は続いていました。しかし、その年をピークに町の人口は減少に転じており、社会生活全体に少なからぬ影響を与えてきています。

教育環境にも大きな変化が生じていることから、町教育委員会は、より良い教育環境を整備し、充実した学校園教育の実現のために、平成30(2018)年3月に「猪名川町立学校の適正規模・適正配置等教育環境のあり方に関する基本方針」を策定し、その後の検討も含め、下記の事項を示しました。

①小学校においては、これまでの教育環境を維持し、おおむね３～５年を目途に必要に応じて基本方針の改定を行う。
②中学校においては、生徒数の減少により１学年１学級となる可能性が予測されることから、令和4(2022)年3月末に中谷中学校と六瀬中学校を閉校し、令和4(2022)年4月に両校からなる「清陵中学校」を現･中谷中学校の施設を活用し開校する。
③幼稚園においては、令和3(2021)年3月末に暫定園（つつじが丘幼稚園）を解消し、つつじが丘幼稚園区は猪名川幼稚園区に編入する。また、入園希望者が減少している松尾台幼稚園を令和5(2023)年3月末に閉園し、松尾台幼稚園区を六瀬幼稚園区に編入する。これらにより町立幼稚園は令和５年度から「猪名川幼稚園、六瀬幼稚園」の２園体制で運営する。

現在、町教育委員会が所管している学校施設は、町が所有する公共施設全体の約５５％を占めており、小学校６校、中学校３校、幼稚園３園及び学校給食センター１施設で、主要な棟の総数は43棟となっていますが、上記の方針により小学校６校、中学校２校、幼稚園２園及び学校給食センター１施設、主要な棟の総数は36棟となります。

今後も多くの施設を継続して利用していくことになりますが、その多くで老朽化が進んでおり、大規模改修を実施すべき目安とされる建築後30年に達した棟は22棟あり、そのうち40年以上が経過した棟は12棟もあることから、施設の老朽化対策が喫緊の課題となっています。

施設の安全・安心を維持し、良好な環境を提供するためには、適時に改修工事などを行うことが求められます。そのためには相応の経費（設計費･工事費など）が必要となりますが、今後はさらに人口減少による税収減少が予想されることから、学校教育系施設をはじめとする公共施設の維持管理費の縮減が求められています。

その対策として、施設の保全(注1)において、これまでの「事後保全型(注2)」から「予防保全型(注3)」へ方針を転換し、既存施設の長期間の利用に向けた『長寿命化』による、ライフサイクルコスト(注4)の縮減を図っていかなければなりません。

本計画は「小・中学校、幼稚園、学校給食センター」（以下、「学校施設」という。）の長寿命化を実現するため、施設の劣化状況や利用状態の変化を把握し、大規模改修等の事業量・事業費の縮減及び年度毎の平準化を図りつつ、事業実施の優先順位、改修内容、実施期間等を定め、施設を適切かつ計画的に保全していくことを目的としています。

1-2 計画期間

令和3(2021)年度から令和42(2060)年度までの40年間を本計画の計画期間とします。

なお、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、社会情勢の変化に即したものとするためにこの計画は概ね5年を単位に見直しを行うものとします。

(注1) 保全： 建築物･建築設備や門塀などの諸施設（以下、「建築物等」という。）の性能や機能を、使用目的に適するように維持管理することで、それらを利用ニーズに即して改良することも含まれます。

(注2) 事後保全型： 建築物等に不具合や故障が起こった後に、修繕や部品交換などを行い、性能や機能を元の状態に戻す保全方法のことです。

(注3) 予防保全型： 建築物等に不具合や故障が起こるまでに、築年数などを目安にして事前に修繕や部品交換などを行う保全方法のことです。建築物等の老朽化を防止し、長寿命化を図ります。

(注4) ライフサイクルコスト： 建物の建設から解体廃棄されるまでのコストの合計のことで、建設計画や設計、維持管理にかかる経費なども含まれます。

1-3 計画の位置付け

平成25年(2013)11月に国の「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図る方向性が打ち出されました。各地方公共団体においてもインフラ長寿命化基本計画に基づき、「インフラ長寿命化計画」（＝公共施設等総合管理計画）を策定するとともに、個別施設毎の具体の対応方針を定める計画として、「個別計画」を策定することが求められることになりました。

本計画は、「猪名川町公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）で定められた事項を踏まえつつ、学校施設の長寿命化を図るための個別計画として基本的な方針や実施内容を策定するものです。

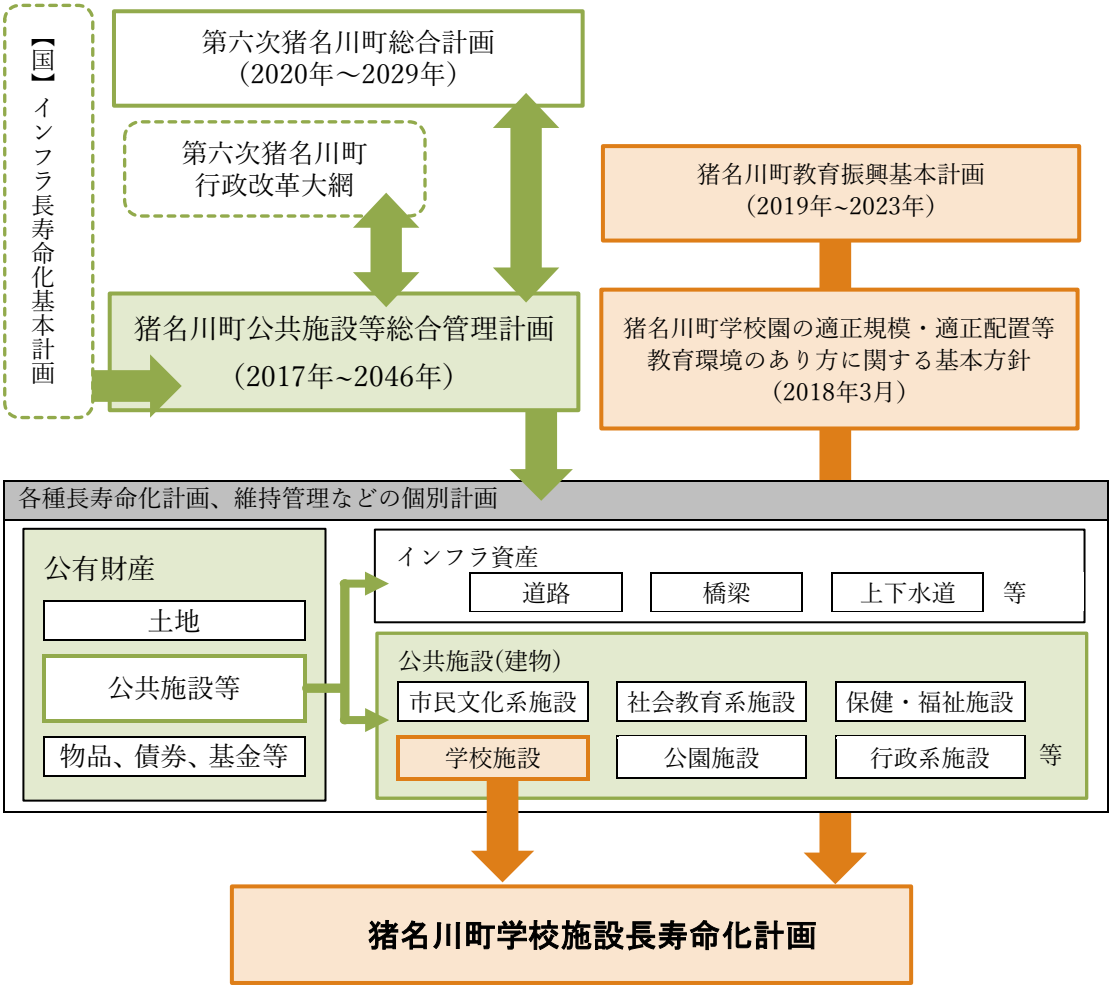


図１　計画の位置付け

1-4 計画対象施設

本計画の対象施設は、小学校６校、中学校２校、幼稚園２園、学校給食センター１施設です。

計画の対象とする棟は「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省)」(以下、解説書という。)に準じて、延床面積200㎡以上のものとします。ただし、200㎡未満の棟であっても用途・構造等を考慮し対象とすることもあります。

なお、計画上の棟区分は解説書に示された下記の要件を参考に整理しました。

- 一体的に工事すべき「かたまり」を「ひとつの棟」とし、渡り廊下、給食室、増築した教室棟などを、本体の教室棟と一体と見なす。
- 渡り廊下は、枝番号がある場合は、親番号の棟に含める。別の棟番号がある場合は、後で整備された棟に含める。
- 特別教室の上階に体育館があり、棟番号が異なる場合は、体育館・特別教室棟として一体と見なす。
- 建物としては一体でも、棟番号が異なる給食室棟やクラブハウス、エキスパンションジョイントで分割された教室棟は、築年数が５年未満の場合は「ひとつの棟」としてまとめる。

なお、対象としない施設は六瀬中学校及び松尾台幼稚園です。

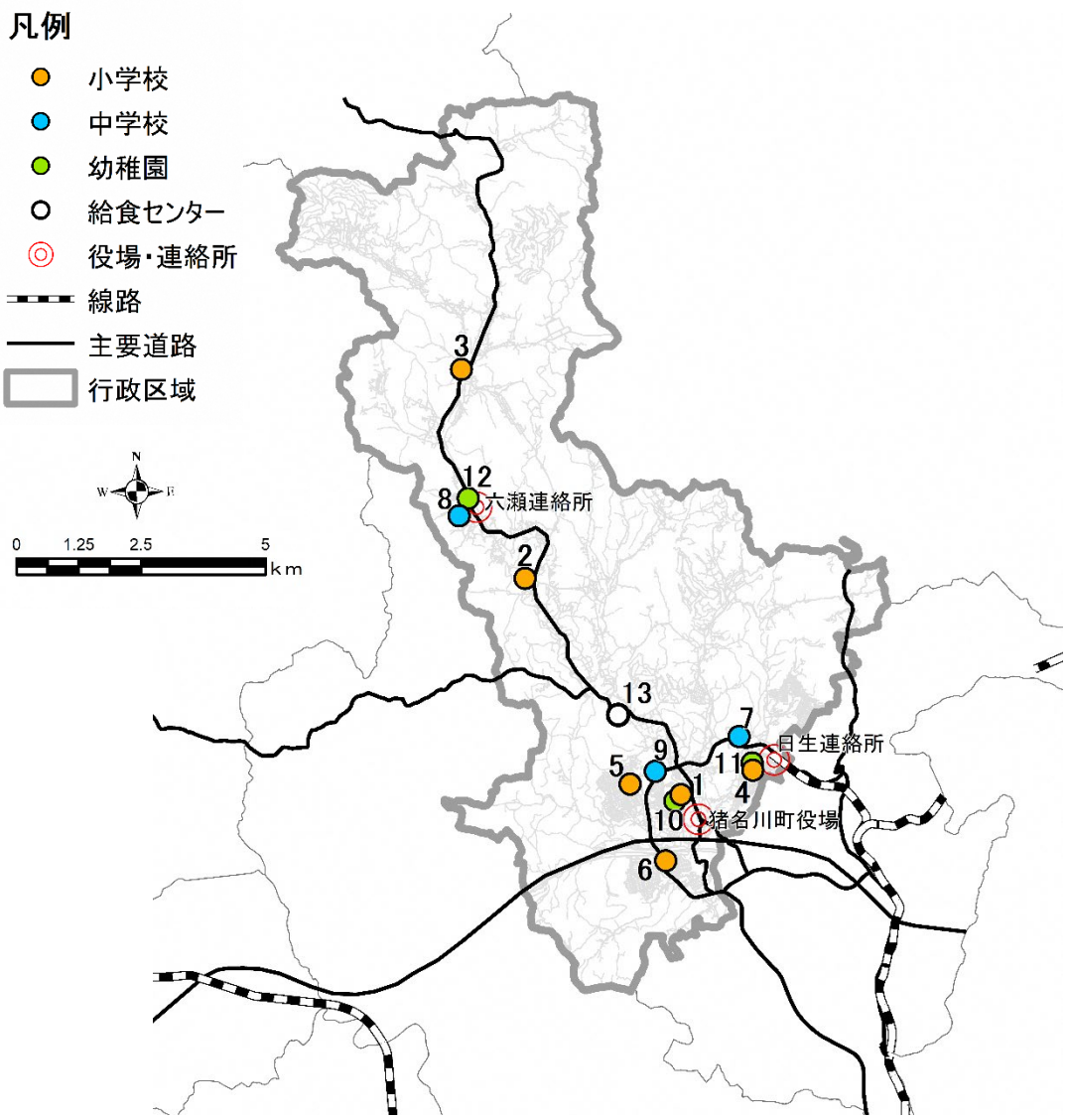
表１　対象施設

施設分類	施設数	棟　数			
		校舎・園舎	体育館・武道場	給食調理場	計
小学校	6	18	6	—	24
中学校	2	5	3	—	8
幼稚園	2	3	—	—	3
学校給食センター	1	—	—	1	1
合計	11	26	9	1	36

施設分類	施設数	面　積（㎡）			
		校舎・園舎	体育館・武道場	給食調理場	計
小学校	6	28,263	5,506	—	33,769
中学校	2	14,285	3,353	—	17,638
幼稚園	2	1,330	—	—	1,330
学校給食センター	1	—	—	1,863	1,863
合計	11	43,878	8,859	1,863	54,600

1-5 計画対象施設の配置

図表１　学校等位置図



1	猪名川小学校	2	楊津小学校	3	大島小学校
4	松尾台小学校	5	白金小学校	6	つつじが丘小学校
7	中谷中学校※	8	六瀬中学校(対象外)※	9	猪名川中学校
10	猪名川幼稚園	11	松尾台幼稚園(対象外)	12	六瀬幼稚園
13	学校給食センター				

※令和4(2022)年4月、中谷中学校と六瀬中学校を閉校し、現・中谷中学校の施設を活用して、「清陵中学校」を開校します。

第２章　学校施設の目指すべき姿

2-1 学校施設の目指すべき姿

○施設の計画的・効率的な整備

予防改修(注5)工事や長寿命化改修(注6)工事を計画的に実施し、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図ります。

災害時における住民の避難所としての利用や余剰教室等を生涯学習や地域コミュニティ活動の場として活用するなど、他用途施設との複合化も視野に入れたフレキシブルな空間として提供することを目指します。

学校施設を生涯学習や地域コミュニティ活動の場として、すべての利用者が安全かつ安心して利用できるように、施設のユニバーサルデザイン化整備を図ります。

今後の「幼児(幼稚園児)、児童(小学生)、生徒(中学生)」(以下、「児童等」という。)数の推計等を基に学校園の適正規模・適正配置を検討し、再編や校舎等の減築など施設の計画的・効率的な整備を進めます。

○教育環境の整備・充実

「分かる授業」を実現できる環境づくりや「確かな学力」の向上のために、校内ＬＡＮ整備や電子黒板の設置、オンライン学習等のためのネットワーク整備を行うとともに、照明のＬＥＤ化や可動黒板等の整備に努めます。

○子どもの安全・安心の確保

子どもたちが、安心して教育を受けることができる環境づくりのため、老朽化が進む学校施設の改修に計画的に取り組むとともに、トイレは衛生面や管理面に配慮し、床面の乾式化や大便器の洋式化、多目的トイレの充実などを図ります。

また、通用門の電子化などの防犯対策等により、子どもたちの安全確保を図ります。

(注5) 予防改修： 長寿命化を図ることを前提として実施する予防保全を目的とした改修で、新築から長寿命化改修までの間、または長寿命化改修から改築までの間に実施します。
※改修内容は P35 の脚注 10 を参照

(注6) 長寿命化改修： 予防改修の内容だけでなく、建築物等の耐久性を高めるとともに、社会的ニーズ(機能向上)に対応するために行う大規模な改修です。※改修内容は P30 の図 3 を参照

第３章　学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

3-1-1 学校施設一覧

令和３年４月時点で町教育委員会が所管している施設は、小学校６校、中学校３校、幼稚園３園、学校給食センターです。なお、本計画の対象施設は表３のとおり小学校６校、中学校２校、幼稚園２園、学校給食センターです。

表２　所有施設一覧

施設名	敷地面積（㎡）			建物面積（㎡）				備考（〇印は計画対象施設）
	建物敷地	運動場その他	計	校舎	体育館武道場	給食調理場	計	
【小学校】								
1. 猪名川小学校	13,141	15,196	28,337	5,470	906	—	6,376	〇
2. 楊津小学校	3,442	5,546	8,988	2,673	640	—	3,313	〇
3. 大島小学校	4,925	10,569	15,494	2,915	644	—	3,559	〇
4. 松尾台小学校	10,179	10,195	20,374	5,835	984	—	6,819	〇
5. 白金小学校	16,890	13,112	30,002	6,307	1,051	—	7,358	〇
6. つつじが丘小学校	10,284	9,271	19,555	6,000	1,281	—	7,281	〇
計	58,861	63,889	122,750	29,200	5,506	—	34,706	
【中学校】								
1. 中谷中学校	15,500	21,360	36,860	6,122	1,340	—	7,462	〇 2022.03閉校 清陵中学校設置
2. 六瀬中学校	7,906	16,803	24,709	3,546	1,613	—	5,159	2022.03閉校
3. 猪名川中学校	22,401	15,591	37,992	8,618	2,013	—	10,631	〇
計	45,807	53,754	99,561	18,286	4,966		23,252	
【幼稚園】								
1. 猪名川幼稚園	1,031	1,670	2,701	630	—	—	630	〇
2. 松尾台幼稚園	1,259	1,252	2,511	628	—	—	628	2023.03閉園
3. 六瀬幼稚園	1,570	1,120	2,690	700	—	—	700	〇
計	3,860	4,042	7,902	1,958			1,958	
学校園　計	108,528	121,685	230,213	49,444	10,472	—	59,916	
【その他】								
1. 学校給食センター	2,014	—	2,014	—	—	2,014	2,014	〇
合計	110,542	121,685	232,227	49,444	10,472	2,014	61,930	全13施設

表３　計画対象施設一覧

施設名	建物名	建物用途	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度	耐震基準(注7)	耐震改修
【小学校】								
1. 猪名川小学校	中央教室棟	校舎	RC	3	3,175	1977	旧	済
	北教室棟	校舎	RC	3	885	1977	旧	不要
	管理・南教室棟	校舎	RC	3	1,293	1978	旧	不要
	体育館	体育館	S	1	906	1978	旧	不要
2. 楊津小学校	体育館	体育館	S	1	640	1985	新	不要
	やないづ館	校舎	RC	3	480	1989	新	不要
	管理・教室棟	校舎	RC	2	2,021	2007	新	不要
3. 大島小学校	体育館	体育館	S	1	644	1984	新	不要
	管理・教室棟	校舎	RC	3	1,738	1987	新	不要
	特別教室棟	校舎	W	2	985	2006	新	不要
4. 松尾台小学校	管理棟	校舎	RC	3	1,083	1976	旧	済
	北校舎棟	校舎	RC	3	1,158	1976	旧	不要
	中央校舎棟	校舎	RC	3	1,635	1976	旧	済
	体育館	体育館	S	1	984	1978	旧	済
	南校舎棟	校舎	RC	3	1,831	1980	旧	済
5. 白金小学校	管理・特別教室棟	校舎	RC	3	3,614	1992	新	不要
	東校舎棟	校舎	RC	3	1,613	1992	新	不要
	体育館	体育館	RC	2	1,051	1992	新	不要
	西校舎棟	校舎	RC	3	926	2006	新	不要
6. つつじが丘小学校	中央校舎棟(東)	校舎	RC	4	2,717	1997	新	不要
	中央校舎棟(西)	校舎	RC	4	1,952	1997	新	不要
	体育館	体育館	RC	2	1,281	1997	新	不要
	東校舎棟	校舎	RC	4	626	2006	新	不要
	西校舎棟	校舎	RC	3	531	2006	新	不要

〈凡例〉

構造	RC：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造
耐震基準	旧：旧耐震基準により設計された建築物
	新：新耐震基準により設計された建築物
耐震改修	不要：新耐震基準により設計された建築物又は、耐震診断の結果耐震補強が不要と判定された建築物。
	済　：耐震改修済みの建築物

(注7) 耐震基準：　建築物の耐震性能の基準で、昭和 56(1981)年度以前に建設されたものは「旧耐震基準」で、昭和 57(1982)年度以降に建設されたものは「新耐震基準」により設計されています。

施設名	建物名	建物用途	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度	耐震基準	耐震改修
【中学校】								
1. 中谷中学校	管理・西教室棟	校舎	RC	3	2,403	1980	旧	済
	中央校舎棟	校舎	RC	3	1,902	1980	旧	済
	体育館	体育館	S	2	974	1980	旧	不要
	東校舎棟	校舎	RC	3	1,492	1984	新	不要
	武道場	武道場	S	1	366	1989	新	不要
2. 猪名川中学校	管理・南教室棟	校舎	RC	3	4,306	1989	新	不要
	体育館・武道場	体育館	RC	2	2,013	1989	新	不要
	特別教室・北教室棟	校舎	RC	3	4,182	1990	新	不要
【幼稚園】								
1. 猪名川幼稚園	西園舎	園舎	RC	1	288	1986	新	不要
	東園舎	園舎	RC	2	342	1994	新	不要
2. 六瀬幼稚園	園舎	園舎	RC	1	700	1994	新	不要
【その他】								
1. 学校給食センター	本館	給食調理場	S	1	1,863	2013	新	不要

〈参考〉計画対象外施設一覧

施設名	建物名	建物用途	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度	耐震基準	耐震改修
1. 六瀬中学校	管理棟	校舎	RC	1	269	1982	新	不要
	北教室棟	校舎	RC	3	2,093	1982	新	不要
	体育館	体育館	S	1	685	1983	新	不要
	南教室棟	校舎	RC	2	1,008	1992	新	不要
	武道場	武道場	RC	1	928	2000	新	不要
2. 松尾台幼稚園	西園舎	園舎	RC	1	228	1979	旧	不要
	東園舎	園舎	RC	1	400	1995	新	不要

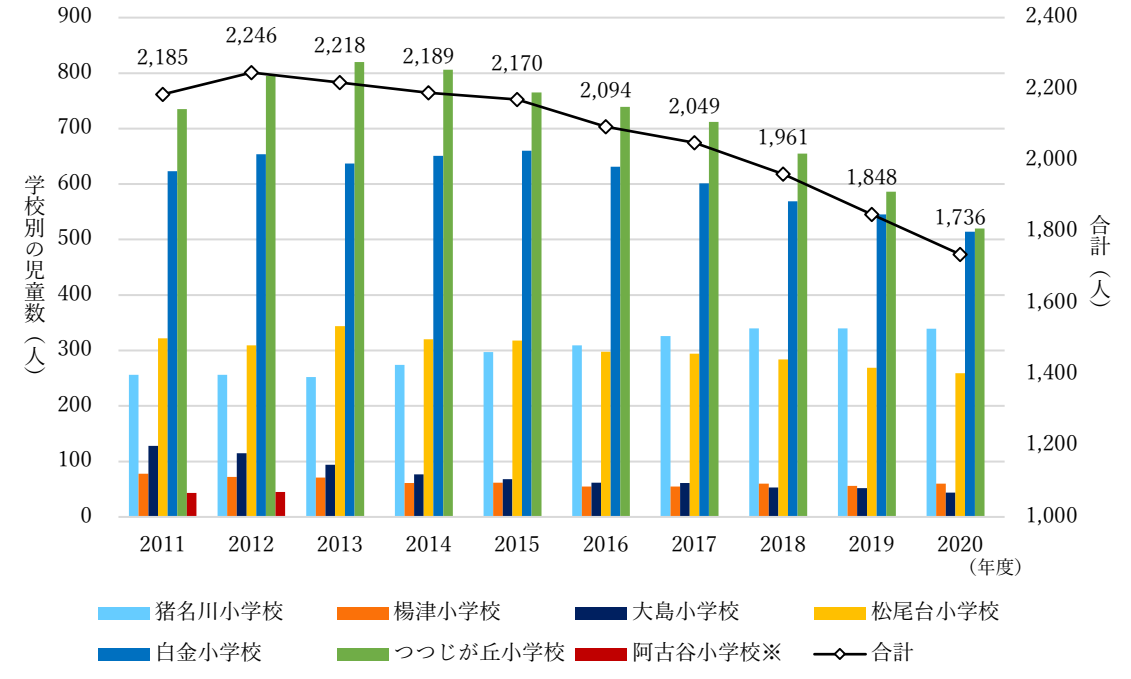
3-1-2 児童数等及び学級数の推移

①小学校

①-1　児童数の推移

令和2(2020)年度の児童数は1,736人であり、平成23(2011)年度に対し20.5%減少しました。平成24(2012)年度までは増加傾向にありましたが、平成25(2013)年度から年々減少しています。

図表２　児童数の推移



（単位：人）

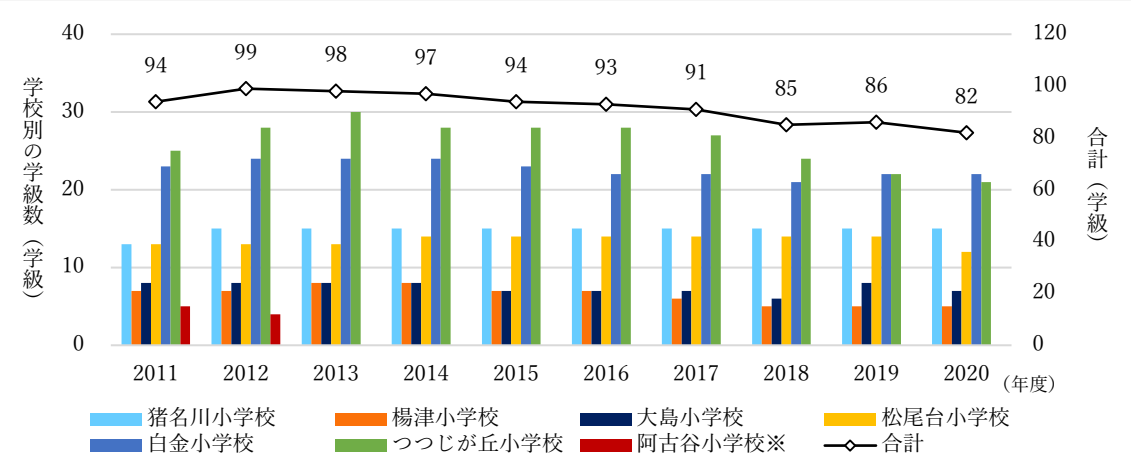
学校名	年度									
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1. 猪名川小学校	256	256	252	274	297	309	326	340	340	339
2. 楊津小学校	78	72	71	61	62	55	55	60	56	60
3. 大島小学校	128	115	94	77	68	62	61	53	52	44
4. 松尾台小学校	322	309	344	320	318	298	294	284	269	259
5. 白金小学校	623	654	637	651	660	631	601	569	545	514
6. つつじが丘小学校	735	795	820	806	765	739	712	655	586	520
7. 阿古谷小学校※	43	45	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,185	2,246	2,218	2,189	2,170	2,094	2,049	1,961	1,848	1,736
増減率	(基準年度)	2.8%	1.5%	0.2%	-0.7%	-4.2%	-6.2%	-10.3%	-15.4%	-20.5%

※阿古谷小学校は平成25(2013)年3月末に閉校し、松尾台小学校と統合。

①-2　学級数の推移

小学校の学級数は平成24(2012)年度をピークに、減少傾向にあります。現在はピーク時(99学級)から17学級減少しました。

図表３　小学校の学級数の推移



※阿古谷小学校は平成25(2013)年3月末に閉校し、松尾台小学校と統合。

（単位：学級）

学校名	学級	年度									
		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1. 猪名川小学校	普通学級	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	特支学級(注8)	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2. 楊津小学校	普通学級	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5
	特支学級	1	1	2	2	1	1	—	—	—	—
3. 大島小学校	普通学級	6	6	6	6	6	6	6	5	6	5
	特支学級	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2
4. 松尾台小学校	普通学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	10
	特支学級	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
5. 白金小学校	普通学級	20	21	21	21	20	19	19	18	18	18
	特支学級	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4
6. つつじが丘小学校	普通学級	22	24	26	24	23	23	22	20	18	17
	特支学級	3	4	4	4	5	5	5	4	4	4
7. 阿古谷小学校	普通学級	5	4	—	—	—	—	—	—	—	—
	特支学級	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		94	99	98	97	94	93	91	85	86	82

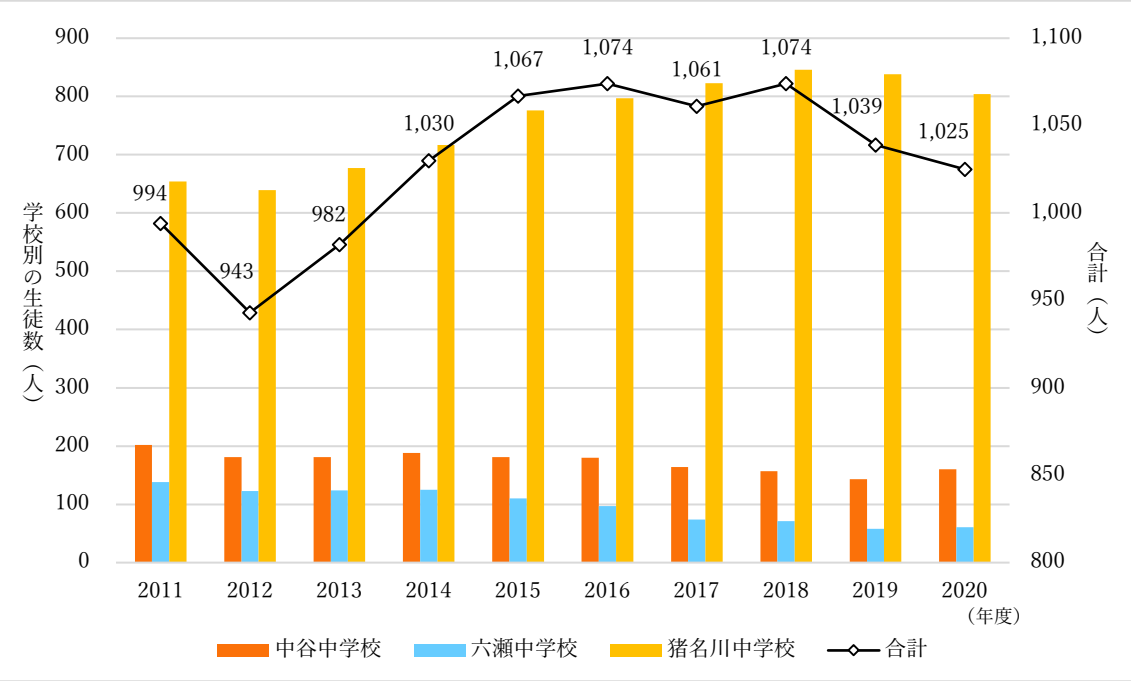
(注8) 特支学級： 特別支援学級の略称。「小・中学校において障がいのある児童生徒に対し、障がいによる学習上又は生活上の困難を克服するために設置される学級」のことです。

②中学校

②-1　生徒数の推移

令和2(2020)年度の生徒数は1,025人です。過去10年間で最も生徒数が少なかった年度は平成24(2012)年度であり、943人となっています。なお、私立中学校へ進学する生徒もおり、未来予測をすることが困難なことから、年齢別人口に基づく生徒数のみで予測しています。

図表４　生徒数の推移



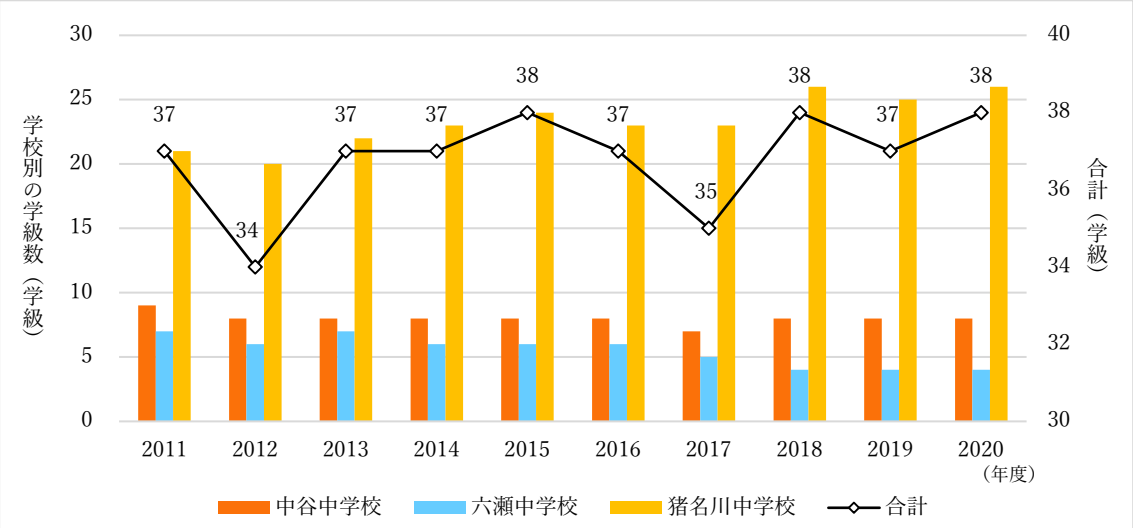
（単位：人）

学校名	年度									
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1. 中谷中学校	202	181	181	188	181	180	164	157	143	160
2. 六瀬中学校	138	123	124	125	110	97	74	71	58	61
3. 猪名川中学校	654	639	677	717	776	797	823	846	838	804
合計	994	943	982	1,030	1,067	1,074	1,061	1,074	1,039	1,025
増減率	(基準年度)	-5.1%	-1.2%	3.6%	7.3%	8.0%	6.7%	8.0%	4.5%	3.1%

②-2　学級数の推移

中学校では過去10年間で生徒数は減少(図表４参照)していますが、学級数は34～38で推移しており、急激な変化は見られません。現在の学級数は38学級で猪名川中学校は平成23(2011)年度から増加していますが、中谷・六瀬中学校では減少しています。

図表５　中学校の学級数の推移



（単位：学級）

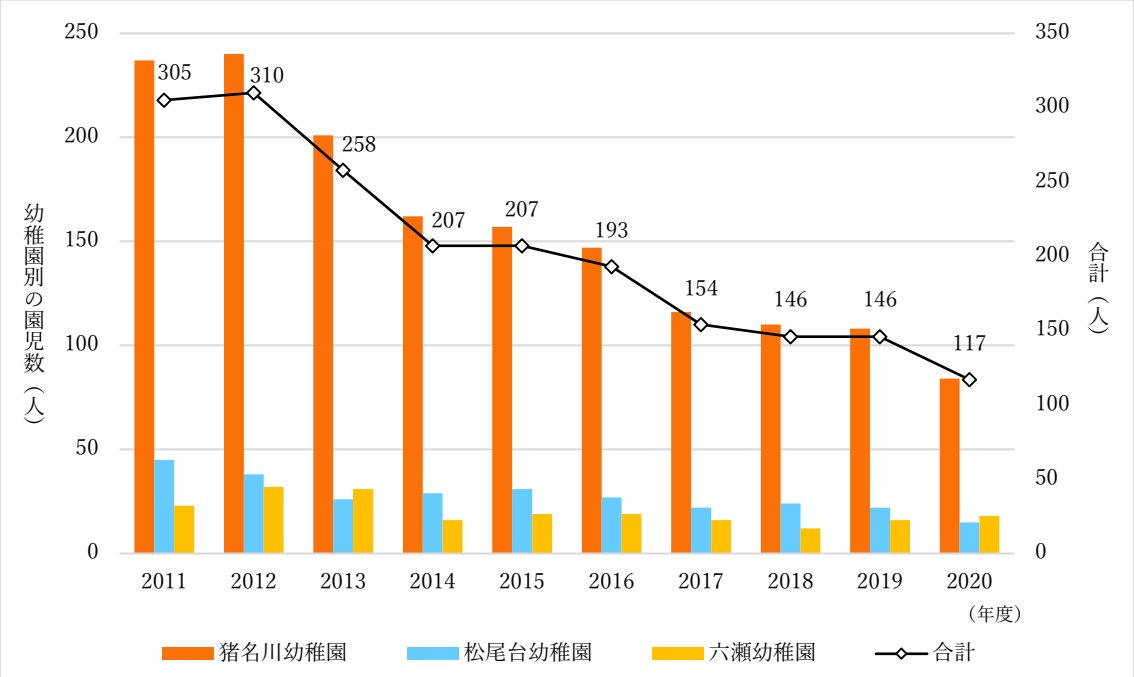
学校名	学級	年度									
		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1. 中谷中学校	普通学級	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	特支学級	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2
2. 六瀬中学校	普通学級	5	4	5	4	4	4	3	3	3	3
	特支学級	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
3. 猪名川中学校	普通学級	18	18	19	20	21	21	21	22	21	21
	特支学級	3	2	3	3	3	2	2	4	4	5
合計		37	34	37	37	38	37	35	38	37	38

③幼稚園

③-1　園児数の推移

令和2(2020)年度の園児数は117人であり、平成23(2011)年度に対し61.6%減少しました。平成25(2013)年度から園児数が減少し、過去10年間でピーク時(310人)から193人も減少しました。

図表６　園児数の推移



※猪名川幼稚園の園児数につつじが丘幼稚園の園児数を含む。

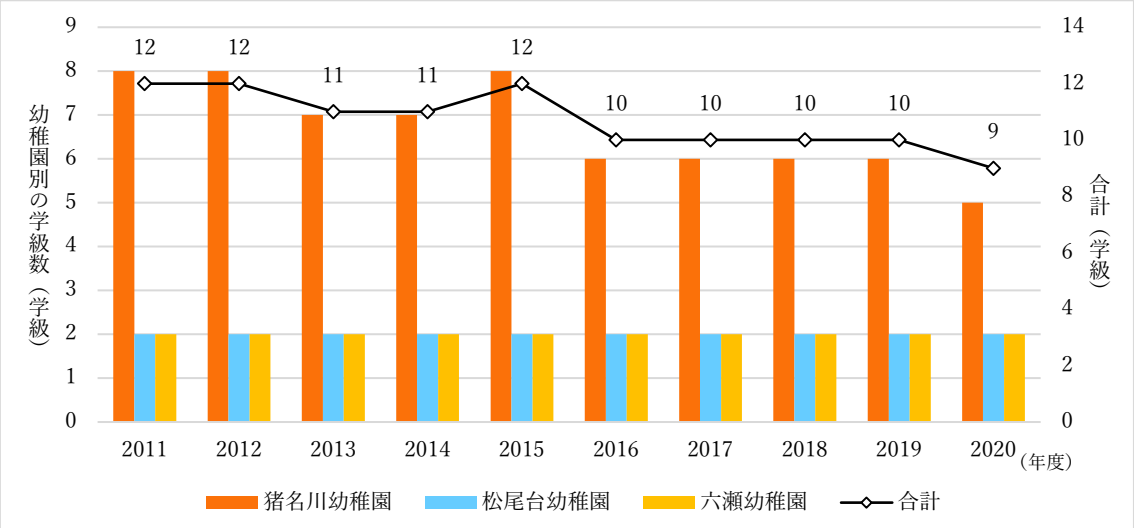
（単位：人）

園　名	年　度									
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1. 猪名川幼稚園	237	240	201	162	157	147	116	110	108	84
つつじが丘幼稚園	(122)	(115)	(82)	(59)	(62)	(59)	(47)	(37)	(30)	(23)
2. 松尾台幼稚園	45	38	26	29	31	27	22	24	22	15
3. 六瀬幼稚園	23	32	31	16	19	19	16	12	16	18
合計	305	310	258	207	207	193	154	146	146	117
増減率	(基準年度)	1.6%	-15.4%	-32.1%	-32.1%	-36.7%	-49.5%	-52.1%	-52.1%	-61.6%

③-2　学級数の推移

幼稚園の学級数は現在９学級あり、平成23(2011)年度に対し３学級減少しました。松尾台・六瀬幼稚園は過去10年間では変化はなく、４歳児学級、５歳児学級ともに１学級となっています。

図表７　幼稚園の学級数の推移



※猪名川幼稚園の園児数につつじが丘幼稚園の園児数を含む。

（単位：学級）

園　名	年　度									
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1. 猪名川幼稚園	8	8	7	7	8	6	6	6	6	5
つつじが丘幼稚園	(4)	(4)	(3)	(3)	(4)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
2. 松尾台幼稚園	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3. 六瀬幼稚園	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	12	12	11	11	12	10	10	10	10	9

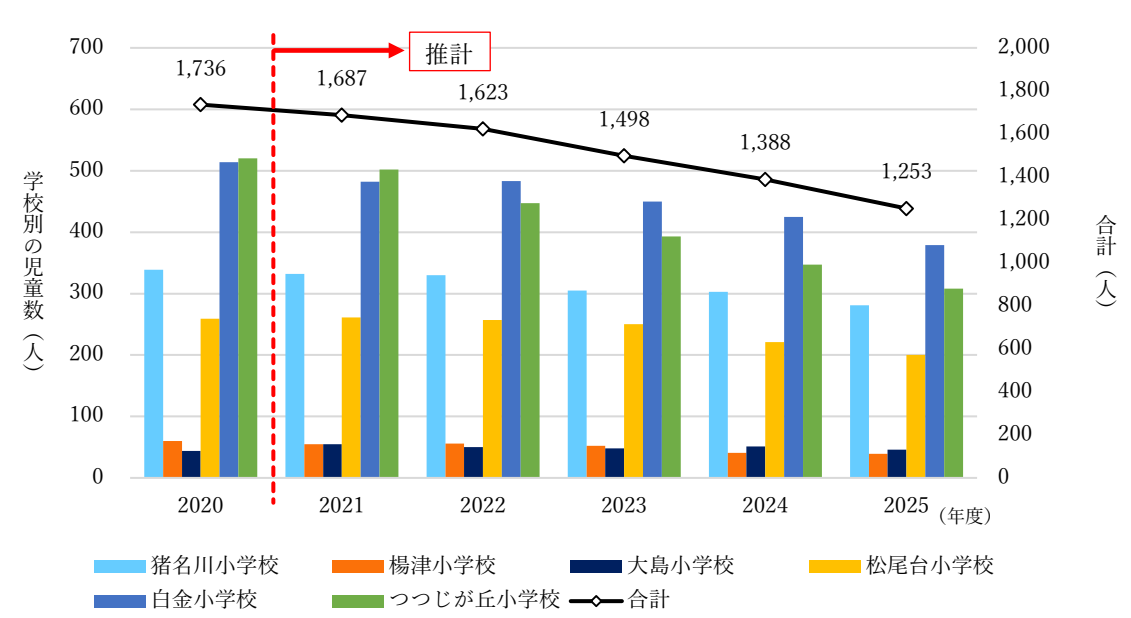
3-1-3 児童数等及び学級数の予測

①小学校

①-1　児童数の予測

令和2(2020)年度に対して、６年後の令和7(2025)年度には児童数は483人減少すると予測されています。

図表８　児童数の予測



（単位：人）

学校名	年度						
	2020（現況）	2021（以降推計）	2022	2023	2024	2025	基準年度との比較
1. 猪名川小学校	339	332	330	305	303	281	-58
2. 楊津小学校	60	55	56	52	41	39	-21
3. 大島小学校	44	55	50	48	51	46	+2
4. 松尾台小学校	259	261	257	250	221	200	-59
5. 白金小学校	514	482	483	450	425	379	-135
6. つつじが丘小学校	520	502	447	393	347	308	-212
合計	1,736	1,687	1,623	1,498	1,388	1,253	-483
増減率	(基準年度)	-2.8%	-6.5%	-13.7%	-20.0%	-27.8%	

①-2　学級数の予測

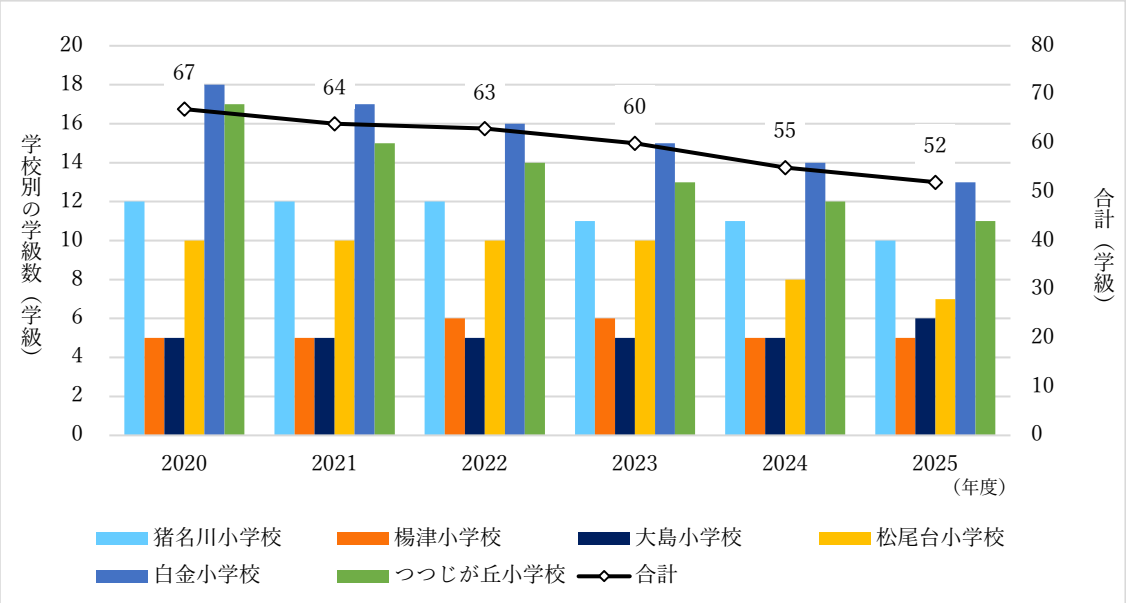
猪名川小学校及び松尾台小学校は、児童数の減少から、令和7(2025)年度には１学級のみの学年が複数出てくることが予測されます。

楊津小学校及び大島小学校は、すでに複式学級での運営を行っており、５年後においても同様の規模で推移すると予測されます。

白金小学校及びつつじが丘小学校は５年後の学級数が現在の７割程度に減る見込みです。しかし、全学年とも２学級以上の規模は維持すると予測されます。

なお、学級数の推移については、特別支援学級に在籍する児童等は前年度末に確定するため、将来予測をすることが困難なことから、年齢別人口に基づく通常学級のみで予測しています。

図表９　小学校の学級数の予測



（単位：学級）

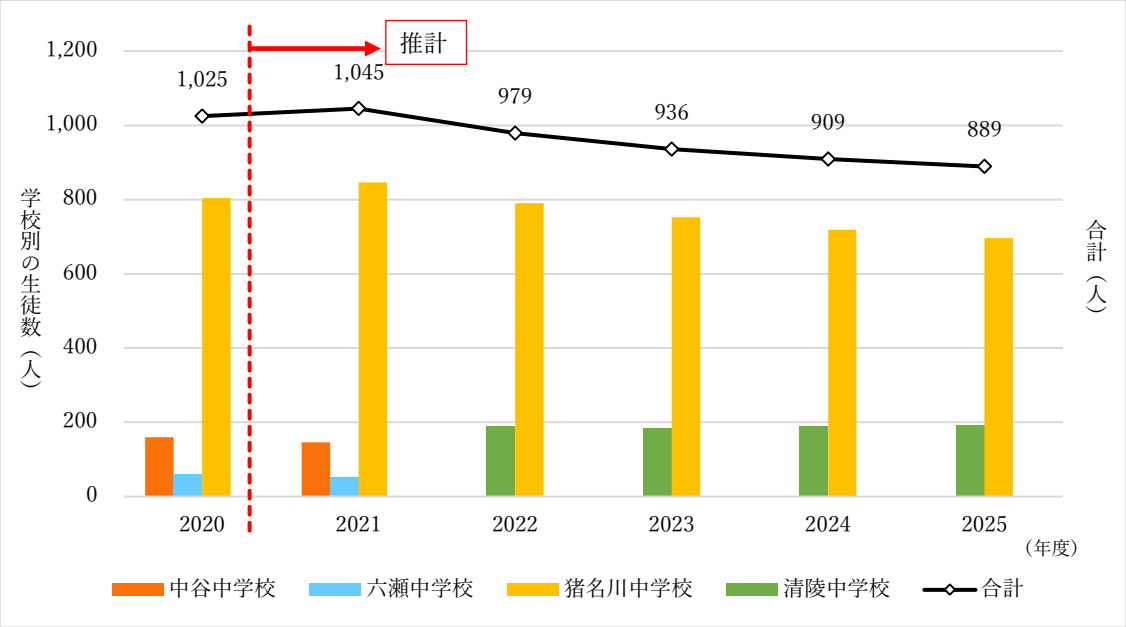
学校名	年度						
	2020（現況）	2021（以降推計）	2022	2023	2024	2025	基準年度との比較
1. 猪名川小学校	12	12	12	11	11	10	-2
2. 楊津小学校	5	5	6	6	5	5	0
3. 大島小学校	5	5	5	5	5	6	+1
4. 松尾台小学校	10	10	10	10	8	7	-3
5. 白金小学校	18	17	16	15	14	13	-5
6. つつじが丘小学校	17	15	14	13	12	11	-6
合計	67	64	63	60	55	52	-15
増減率	（基準年度）	-4.5%	-6.0%	-10.4%	-17.9%	-22.4%	

②中学校

②-1　生徒数の予測

令和2(2020)年度に対して、５年後の令和7(2025)年度には生徒数は136人減少すると予測されています。

図表 10　生徒数の予測



（単位：人）

学校名	年度						
	2020（現況）	2021（以降推計）	2022	2023	2024	2025	基準年度との比較
1. 中谷中学校	160	146	清陵中学校				
2. 六瀬中学校	61	53	189	184	190	193	-28
3. 猪名川中学校	804	846	790	752	719	696	-108
合計	1,025	1,045	979	936	909	889	-136
増減率	(基準年度)	2.0%	-4.5%	-8.7%	-11.3%	-13.3%	

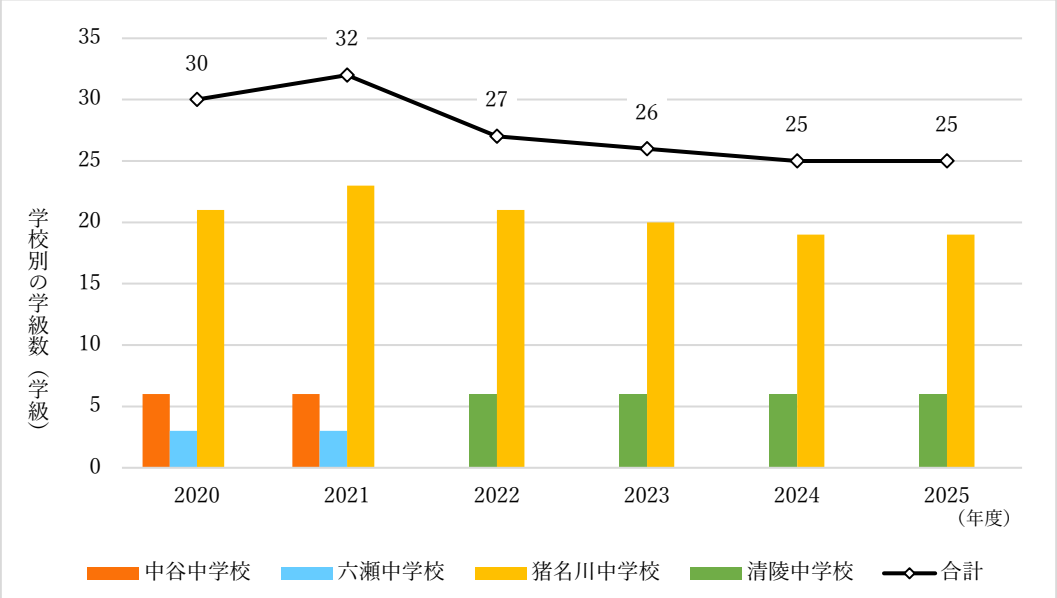
※中谷・六瀬中学校は令和4(2022)年3月末に閉校し、清陵中学校に再編されます。

②-2　学級数の予測

中谷・六瀬中学校は清陵中学校に再編されることから１学年２学級を維持できることが予測されています。

猪名川中学校の学級数は、５年後には生徒数が136人減少することが予測されていることから学校全体で２学級程度減少することが予測されています。

図表 11　中学校の学級数の予測



学校名	年度						
	2020（現況）	2021（以降推計）	2022	2023	2024	2025	基準年度との比較
1. 中谷中学校	6	6	清陵中学校				
2. 六瀬中学校	3	3	6	6	6	6	-3
3. 猪名川中学校	21	23	21	20	19	19	−2
合計	30	32	27	26	25	25	-5
増減率	（基準年度）	6.7%	-10.0%	-13.3%	-16.7%	-16.7%	

③幼稚園

幼稚園は、義務教育ではないことから保育園・認定子ども園等への就園が多数あり、年齢別人口に基づく園児数の予測と実際に就園する園児数との乖離が大きいため、園児数及び学級数の予測は本計画では行いません。

3-1-4 教育環境の把握

①バリアフリー化・省エネ化対応状況

すべての小・中学校の体育館にはLED照明が設置されています。また、太陽光発電は小・中学校と給食センターに設置されています。

学校施設の各種設備の設置状況は以下のとおりです。

表４　棟別の設備設置状況

施設名	建物名	エレベーター	多目的トイレ	太陽光発電	ＬＥＤ照明
【小学校】					
1. 猪名川小学校	校舎棟		○	○	
	体育館	(平屋)			○
2. 楊津小学校	校舎棟	○	○	○	
	体育館	(平屋)			○
3. 大島小学校	校舎棟	○	○	○	
	体育館	(平屋)			○
4. 松尾台小学校	校舎棟		○	○	
	体育館	(平屋)			○
5. 白金小学校	校舎棟	○	○	○	
	体育館				○
6. つつじが丘小学校	校舎棟	○	○	○	
	体育館		○		○
【中学校】					
1. 中谷中学校	校舎棟		○	○	
	体育館		○		○
2. 猪名川中学校	校舎棟	○	○	○	
	体育館・武道場		○		○
【幼稚園】					
1. 猪名川幼稚園	西園舎	(平屋)			
	東園舎				
2. 六瀬幼稚園	園舎	(平屋)	○		
【その他】					
1. 学校給食センター	本館	(平屋)	○	○	

②空調設備

すべての小・中学校、幼稚園の管理諸室、普通教室、一部の特別教室及び保育室等に設置されています。

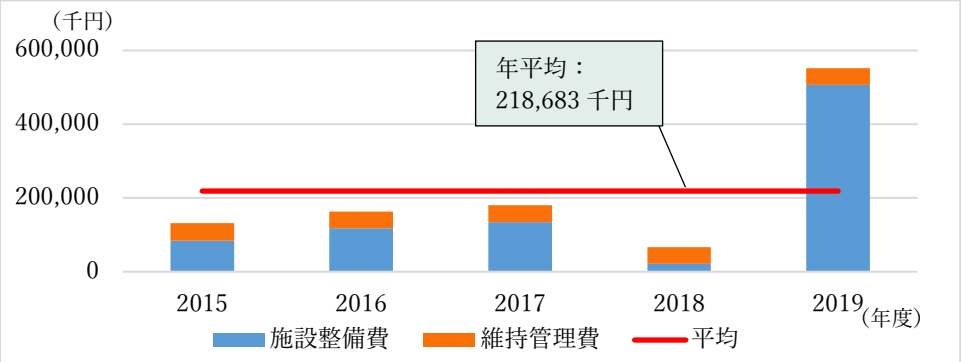
3-1-5 施設の関連経費の推移

過去５年間の学校施設の関連経費は以下のとおりです。

平成31(2019)年度はすべての小・中学校、幼稚園に空調設備を設置したため、施設整備費が突出しています。

施設整備費には、設計・監理費が含まれています。また、維持管理費には修繕費、委託費、光熱水費が含まれます。

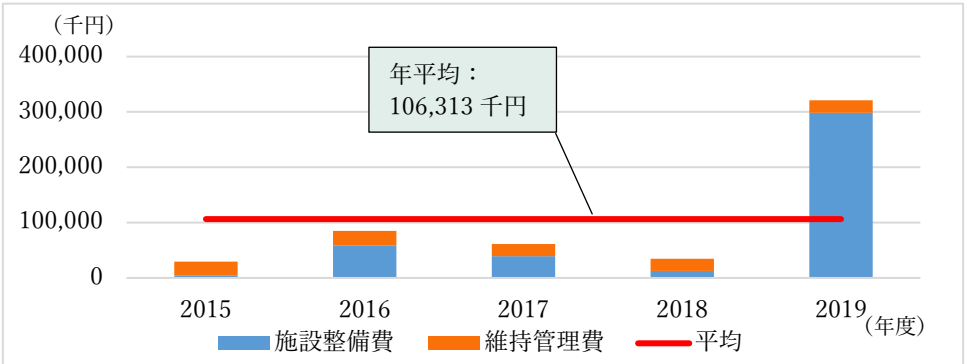
図表12　小学校関連経費



（単位：千円）

	年　　度				
	2015	2016	2017	2018	2019
施設整備費	84,249	117,608	134,375	21,452	506,629
維持管理費	47,829	45,094	45,646	44,924	45,609
合計	132,078	162,702	180,021	66,376	552,238

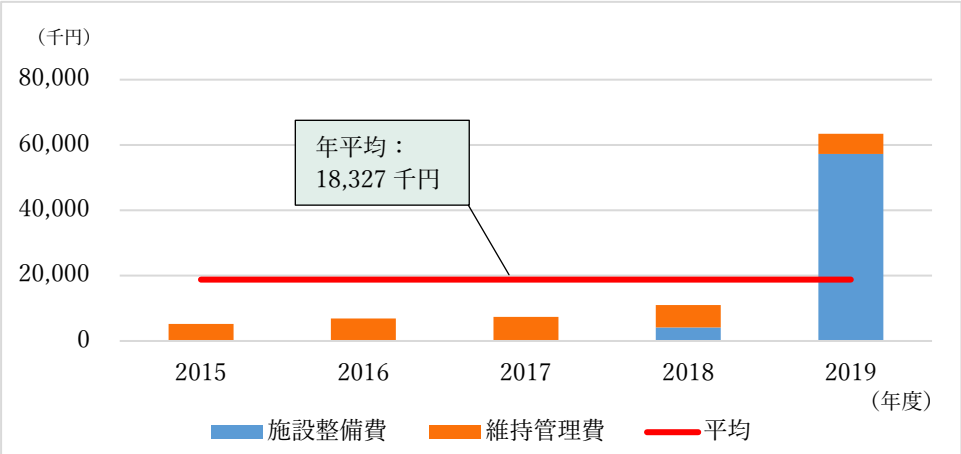
図表13　中学校関連経費



（単位：千円）

	年　　度				
	2015	2016	2017	2018	2019
施設整備費	3,974	59,025	39,172	12,879	298,329
維持管理費	25,571	26,216	21,994	21,863	22,542
合計	29,545	85,241	61,166	34,742	320,871

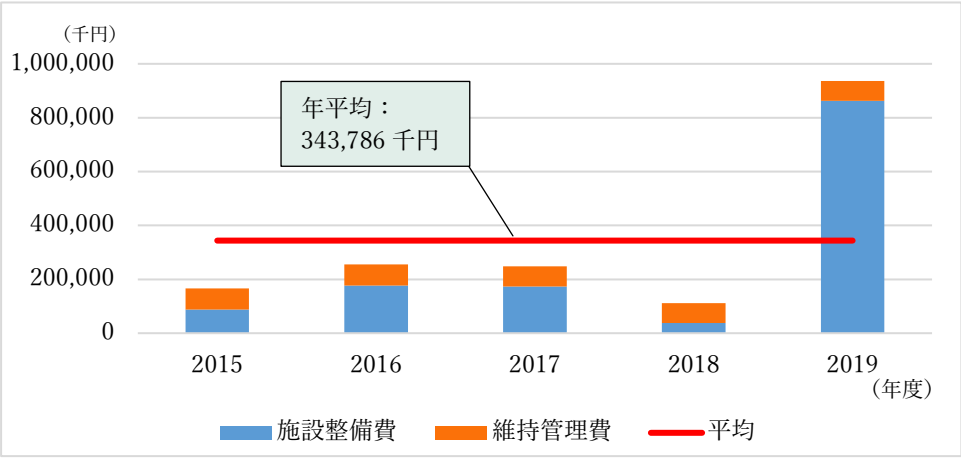
図表14　幼稚園関連経費



（単位：千円）

	年　　度				
	2015	2016	2017	2018	2019
施設整備費	0	0	0	4,096	57,268
維持管理費	5,190	6,906	7,387	6,902	6,202
合計	5,190	6,906	7,387	10,998	63,470

図表15　関連経費総額



（単位：千円）

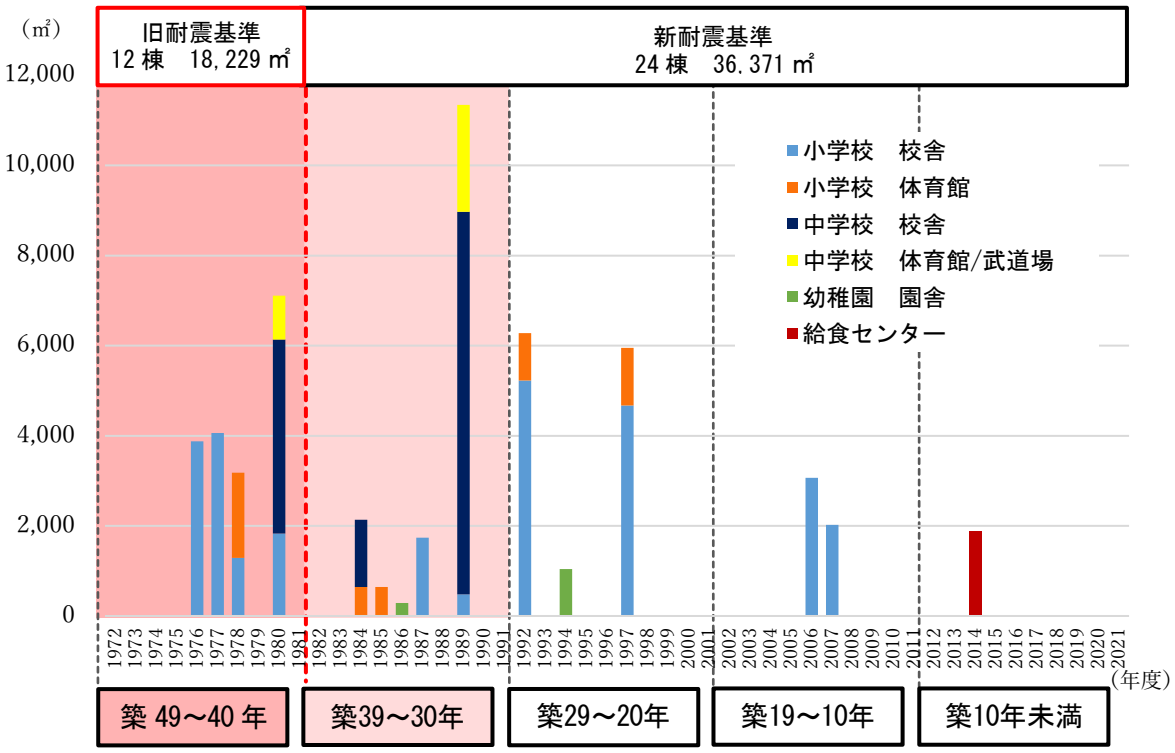
	年　　度				
	2015	2016	2017	2018	2019
施設整備費	88,223	176,633	173,547	38,427	862,226
維持管理費	78,590	78,216	75,027	73,689	74,353
合計	166,813	254,849	248,574	112,116	936,579

3-1-6 施設の築年別整備状況（計画対象施設）

計画対象施設は小学校６校24棟、中学校２校８棟、幼稚園２園３棟の計８校２園35棟と学校給食センター１施設１棟で、全体では36棟、延床面積は約5.4万㎡となっています。

各施設の耐震性能を築年別整備状況でみると、旧耐震基準によるものが12棟、延床面積は約1.8万㎡、新耐震基準によるものが24棟、延床面積は約3.6万㎡です。

図表 16　施設の築年別整備状況



		築49～40年	築39～30年	築29～20年	築19～10年	築10年未満	合計
面積（㎡）	小学校	12,950	3,502	12,228	5,089	—	33,769
	中学校	5,279	12,359	—	—	—	17,638
	幼稚園	—	288	1,042	—	—	1,330
	学校給食センター	—	—	—	—	1,863	1,863
合計（㎡）		18,229	16,149	13,270	5,089	1,863	54,600
棟数（棟）		12	10	8	5	1	36
構成比（%）		33.3	27.8	22.2	13.9	2.8	100.0

3-1-7 学校施設の活用状況

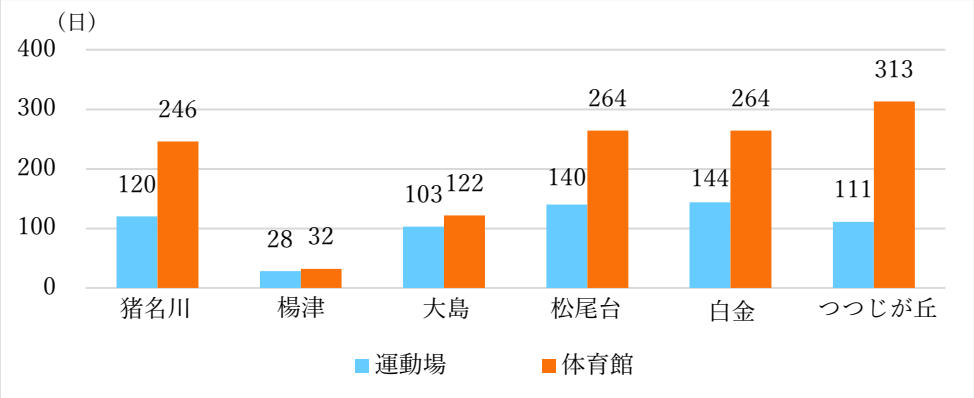
小・中学校は地域住民のスポーツ活動や地域交流の場として、運動場、体育館及び武道場を開放しています。また、幼稚園は未就園の子どもたちを対象に施設を開放しています（いなぼう広場）。

※平成31(2019)年度は感染症対策のため施設の利用制限を行ったため、下記は平成30(2018)年度のデータを集計しています。

①小学校施設利用状況

小学校では運動場と体育館を合わせた平均利用日数が「309日」となっており、広く町民に利用されていることがうかがえます。

図表17　小学校施設利用状況



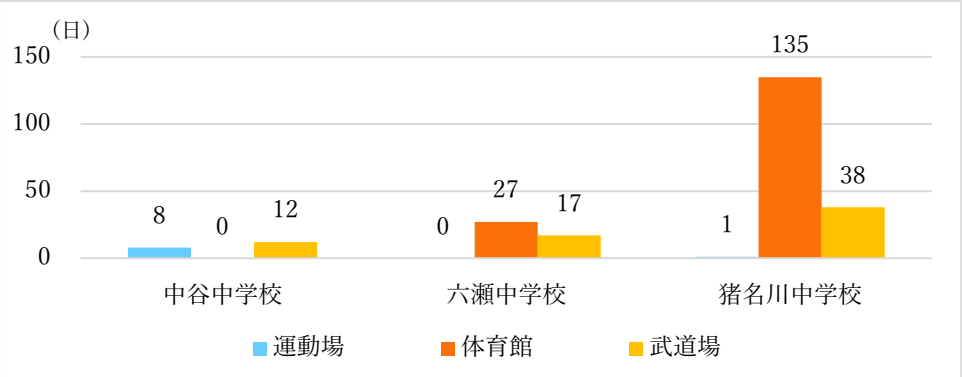
学校名	施設	面積（㎡）	利用日数（日）	利用率
1. 猪名川小学校	運動場	13,116	120	32.9%
	体育館	919	246	67.4%
2. 楊津小学校	運動場	3,469	28	7.7%
	体育館	894	32	8.8%
3. 大島小学校	運動場	7,170	103	28.2%
	体育館	894	122	33.4%
4. 松尾台小学校	運動場	8,585	140	38.4%
	体育館	919	264	72.3%
5. 白金小学校	運動場	11,238	144	39.5%
	体育館	1,215	262	71.8%
6. つつじが丘小学校	運動場	5,983	111	30.4%
	体育館	1,215	313	85.8%

※利用率：施設利用日数÷365

②中学校施設利用状況

中学校は部活動等で運動場・体育館・武道場を使用するため、小学校と比べると利用日数は少ない傾向にありますが、猪名川中学校の体育館のように利用日数が135日の施設もあります。

図表18　中学校施設利用状況



学校名	施設	面積（㎡）	利用日数（日）	利用率
1. 中谷中学校	運動場	13,488	8	2.2%
	体育館	1,138	0	0.0%
	武道場	366	12	3.3%
2. 六瀬中学校	運動場	11,036	0	0.0%
	体育館	685	27	7.4%
	武道場	928	17	4.7%
3. 猪名川中学校	運動場	13,695	1	0.3%
	体育館	1,476	135	37.0%
	武道場	358	38	10.4%

※利用率：施設利用日数÷365

③幼稚園施設利用状況

幼稚園は未就園の子どもたちを対象に、施設を開放しています。（いなぼう広場）

表５　幼稚園施設利用状況

幼稚園	利用人数（人）	利用回数（回）
猪名川幼稚園	373	8
松尾台幼稚園	194	10
六瀬幼稚園	388	18

3-1-８ 施設のトイレ状況の実態

トイレについては、衛生面への配慮から大便器の洋式化や多目的トイレの整備へのニーズが高まっています。本町の学校施設における洋便器の設置率は下表のとおりで、全国平均(57.0%)及び兵庫県平均(60.9%)と比較しますと、一部の学校でそれを下回るところもありますが、全体的には62.7%の設置率となっており、兵庫県平均を上回っています。

児童数等の減少により便器数が過多になっているところもありますので、今後は設置率の向上を目指すだけではなく、必要な便器数を検討し、適切な配置となるよう計画的に改修を行う必要があります。また、学校施設は災害時の避難所として利用されることから、ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが使いやすいトイレの整備が求められています。

表６　洋便器設置率

	猪名川町	兵庫県	全国平均
小・中学校	62.6%	60.9%	57.0%
幼稚園	66.7%	80.1%	75.8%

表７　学校施設のトイレ設置状況

(単位：基)

学校名	洋便器合計							和便器合計	便器合計	洋便器設置率
	校舎	多目的トイレ等	体育館・武道場	多目的トイレ等	屋外トイレ	多目的トイレ等				
猪名川小学校	29	(4)	1	(0)	1	(0)	31	29	60	51.7%
楊津小学校	23	(3)	1	(0)	0	(0)	24	5	29	82.8%
大島小学校	28	(5)	1	(0)	1	(0)	30	15	45	66.7%
松尾台小学校	35	(6)	5	(0)	0	(0)	40	24	64	62.5%
白金小学校	47	(5)	4	(0)	1	(0)	52	10	62	83.9%
つつじが丘小学校	43	(4)	3	(1)	1	(0)	47	36	83	56.6%
小計	205	(27)	15	(1)	4	(0)	224	119	343	65.3%
中谷中学校	24	(4)	6	(1)	1	(0)	31	36	67	46.3%
六瀬中学校	16	(4)	3	(2)	1	(0)	20	15	35	57.1%
猪名川中学校	39	(4)	3	(1)	1	(0)	43	20	63	68.3%
小計	79	(12)	12	(4)	3	(0)	94	71	165	57.0%
猪名川幼稚園 (一般用)	6	(0)	0	(0)	0	(0)	6	0	6	100.0%
(幼児用)	6	(0)	0	(0)	0	(0)	6	0	6	100.0%
松尾台幼稚園 (一般用)	2	(1)	0	(0)	0	(0)	2	7	9	22.2%
(幼児用)	3	(0)	0	(0)	0	(0)	3	1	4	75.0%
六瀬幼稚園 (一般用)	1	(1)	0	(0)	0	(0)	1	2	3	33.3%
(幼児用)	6	(0)	0	(0)	0	(0)	6	2	8	75.0%
小計	22	(0)	0	(0)	0	(0)	24	12	36	66.7%
合計	306	(39)	27	(5)	7	(0)	342	202	544	62.9%

3-2 対象建物の現状と評価

3-2-1 構造躯体及び構造躯体以外の健全性の評価方法

①構造躯体の健全性の評価方法

構造躯体の健全性は過去に実施した耐震診断調査時のコンクリート圧縮強度により評価します。

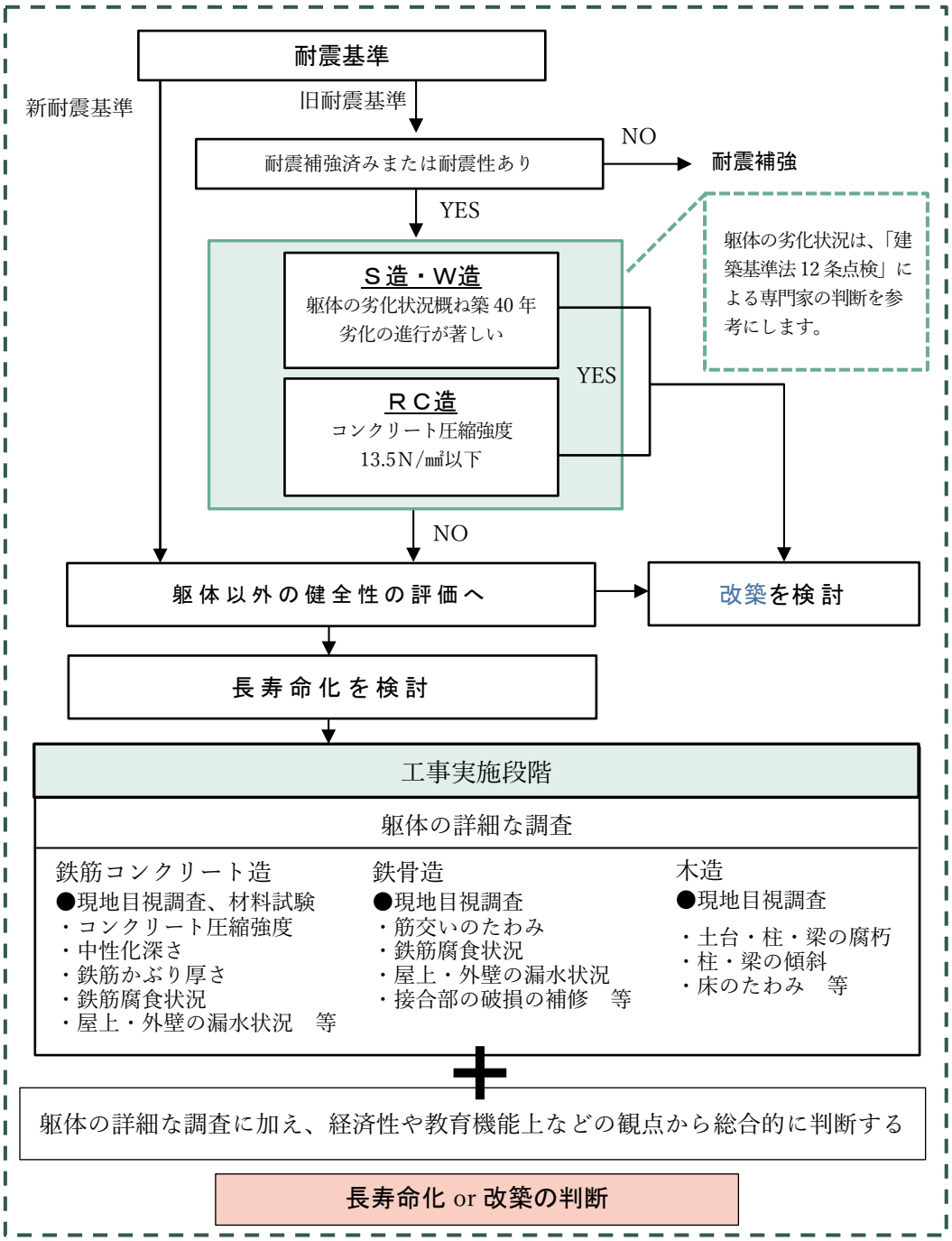


図２　躯体の健全性評価フロー

②構造躯体以外の健全性の評価方法

構造躯体以外の健全性は、まず目視調査の結果及び改修工事実施年からの経過年数を評価の基準とし、「A・B・C・D」の４段階(表８参照)で評価します。

その結果を健全度の算定により100点満点で数値化し、評価します。

◇評価基準

表８　構造躯体以外の健全性の評価基準

【屋根・屋上、外壁】・・・目視による評価

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

【内部仕上、電気設備、機械設備】・・・経過年数による評価

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

◇健全度の算定

健全度とは、建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

「[１]部位の評価点」と「[２]部位のコスト配分」を下表のように定め、「[３]健全度」を100点満点で算定します。（学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成27年４月文部科学省）による）

[１]部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

[２]部位のコスト配分

部位	コスト配分
１．屋根・屋上	5.1
２．外壁	17.2
３．内部仕上げ	22.4
４．電気設備	8.0
５．機械設備	7.3
計	60.0

[３]健全度の算定

健全度＝総和(部位の評価×部位のコスト配分)÷60

※健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

【健全度の算定例】

部位	評価	評価点		コスト配分		
屋根・屋上	C	40	×	5.1	＝	204
外壁	D	10	×	17.2	＝	172
内部仕上	B	75	×	22.4	＝	1,680
電気設備	A	100	×	8.0	＝	800
機械設備	C	40	×	7.3	＝	292
					計	3,148
						÷60
					健全度	52

3-2-2 構造躯体及び構造躯体以外の健全性の評価

①構造躯体の健全性の評価

対象施設全36棟のうち、旧耐震基準により設計された建物は12棟あり、そのすべてに耐震診断を行った結果、５棟は「耐震性あり」、７棟は「耐震補強が必要」となりました。なお、耐震補強が必要と診断された棟については、すでに耐震改修工事を終えています。

表９　旧耐震基準の建物一覧

施設名	建物名	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度		圧縮強度(N/㎟)	耐震改修
					西暦	和暦		
【小学校】								
1. 猪名川小学校	中央教室棟	RC	3	3,175	1977	S52	29.3	済
	北教室棟	RC	3	885	1977	S52	31.3	不要
	管理・南教室棟	RC	3	1,293	1978	S53	16.4	不要
	体育館	S	1	906	1978	S53		不要
2. 松尾台小学校	管理棟	RC	3	1,083	1976	S51	30.5	済
	北校舎棟	RC	3	1,158	1976	S51	30.9	不要
	中央校舎棟	RC	3	1,635	1976	S51	23.9	済
	体育館	S	1	984	1978	S53		済
	南校舎棟	RC	3	1,831	1980	S55	26.0	済
【中学校】								
1. 中谷中学校	管理・西教室棟	RC	3	2,403	1980	S55	27.3	済
	中央校舎棟	RC	3	1,902	1980	S55	23.3	済
	体育館	S	2	974	1980	S55		不要

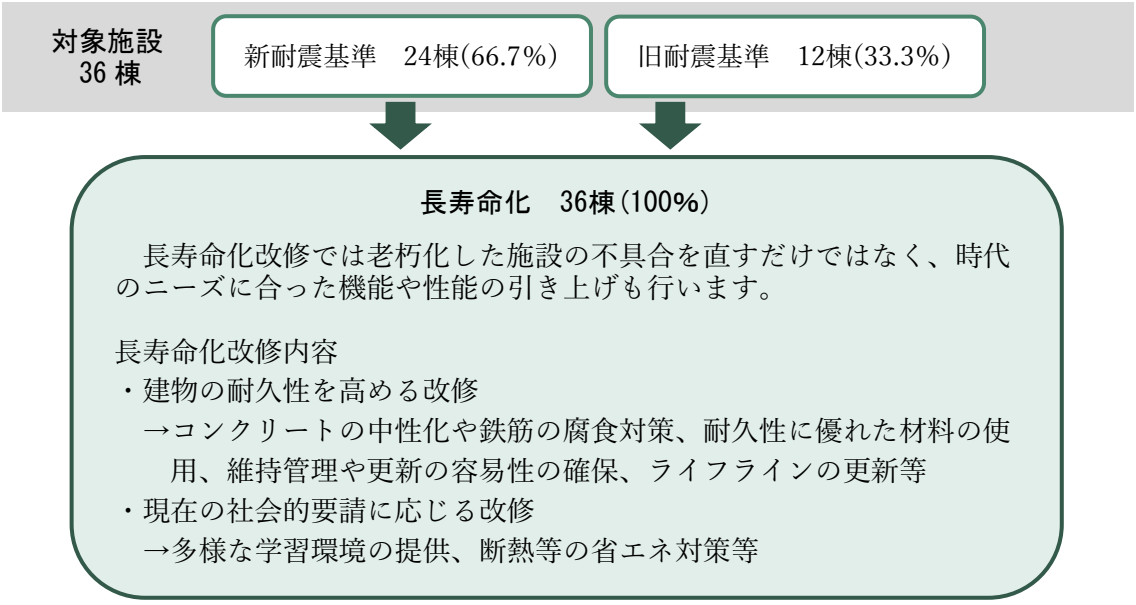


図３　長寿命化対象施設

②構造躯体以外の健全性の評価

②-1　健全性の評価結果（部位別）

部位別に評価した結果、すべての部位で評価Bの割合が多く、現時点では安全上・機能上問題ありません。しかし、建物の長寿命化を図るためには劣化が著しく進行する前に対応していく必要があります。

表 10　健全性の評価結果

（目視による評価）

判定	屋根・屋上		外壁	
	棟数	割合	棟数	割合
A	4	11.1%	3	8.3%
B	25	69.4%	25	69.4%
C	7	19.4%	7	19.4%
D	0	0.0%	1	2.8%
合計	36		36	

（経過年数による評価）

判定	内部仕上		電気設備		機械設備	
	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合
A	7	19.4%	6	16.7%	6	16.7%
B	13	36.1%	18	50.0%	18	50.0%
C	12	33.3%	11	30.6%	12	33.3%
D	4	11.1%	1	2.8%	0	0.0%
合計	36		36		36	

②-2　健全性の評価結果（築年別）

屋根・屋上、外壁は過去に改修を実施している棟もあり、評価結果が比較的良好な棟が多くみられますが、築 40 年を超えている棟の一部にあっては、D 評価のものもあります。

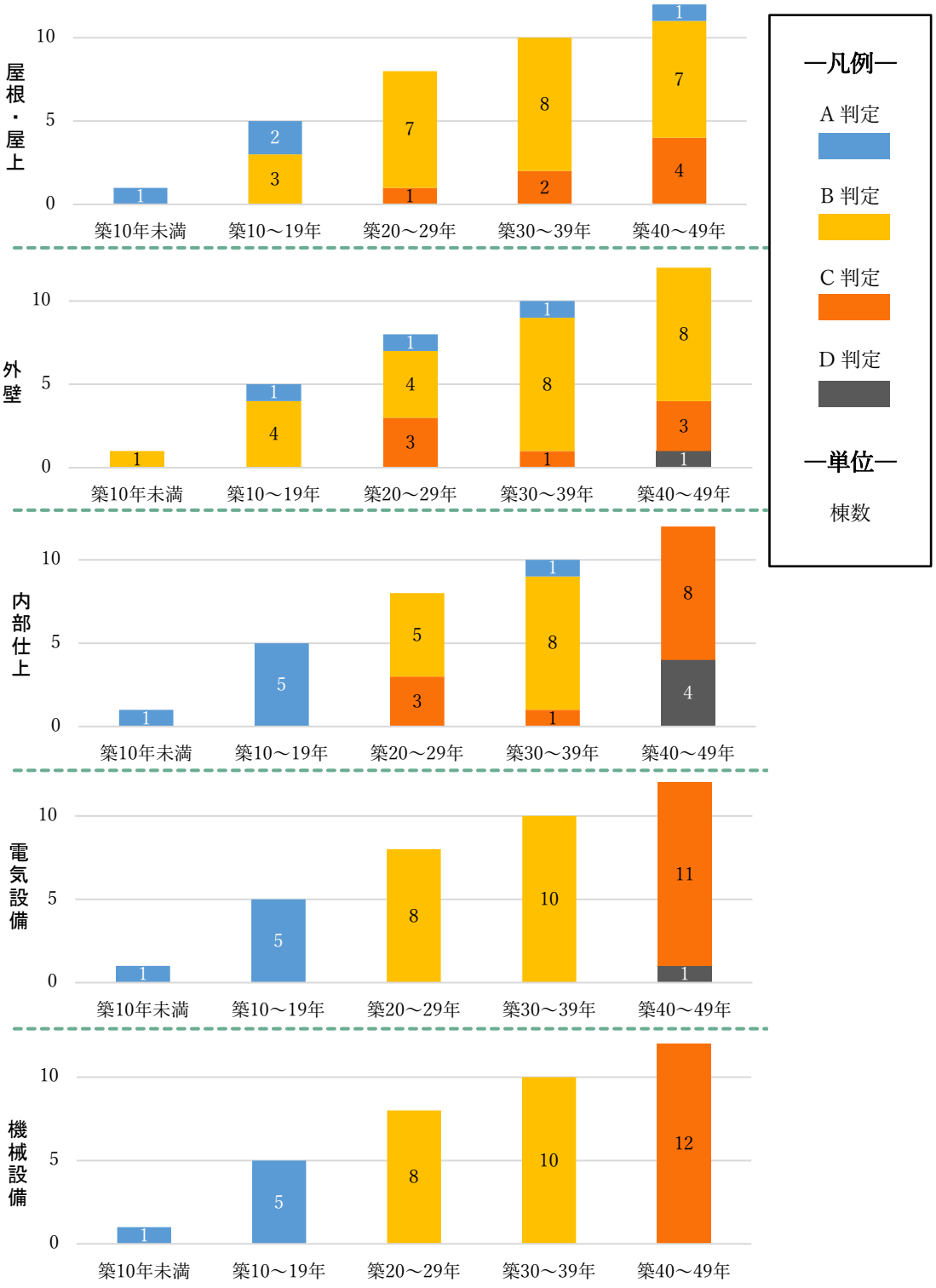


図４　築年別劣化状況

②-3　建築年度別の健全度評価

優先的に改修工事等の対策を講じる必要がある健全度が40点未満の棟は３棟あり、早急に老朽化対策を講じる必要があります。また、築年数の経過とともに健全度の点数が低くなる傾向にあります。

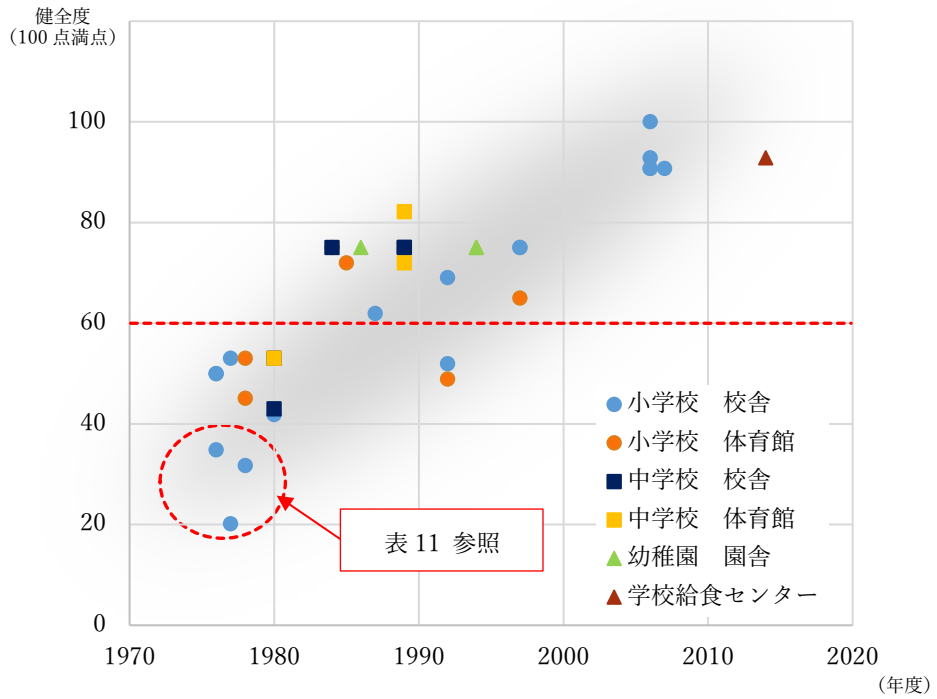


図５　建築年度別健全度の分布

表 11　健全度 40 点未満の施設

施設名	用途区分		構造	延床面積（㎡）	建築年度	部位別劣化度調査					健全度
	建物名	建物用途				屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
猪名川小学校	中央教室棟	校舎	RC	3,175	1977	C	D	D	C	C	20.2
	管理・南教室棟	校舎	RC	1,293	1978	B	C	D	C	C	31.8
松尾台小学校	管理棟	校舎	RC	1,083	1976	C	B	D	D	C	34.8

3-3 コスト面から見た今後の保全方法の検討

今後の施設保全の方法を従来型（事後保全型）と長寿命化型（予防保全型）の2種類について維持・更新コストの面から検討します。

①今後の維持・更新コスト〈従来型（事後保全型）〉

築15～20年周期を目安に大規模改修(注9)、築40～50年で改築という従来実施していた改修周期で計画を実施した場合、今後40年間のコストは年間平均6.5億円が必要となり、総額260.7億円がかかります。これの年平均金額は過去５年間のコストの約1.9倍にあたります。

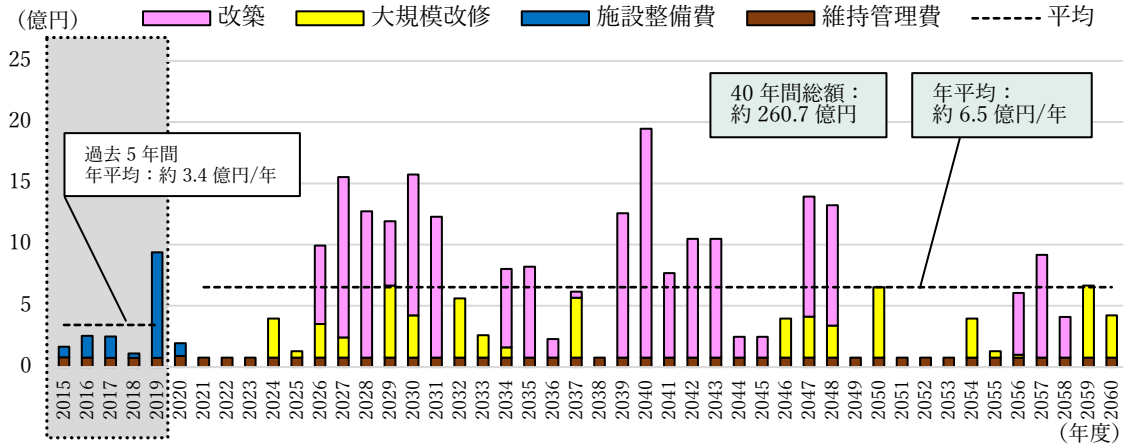


図６　従来型の維持更新コスト

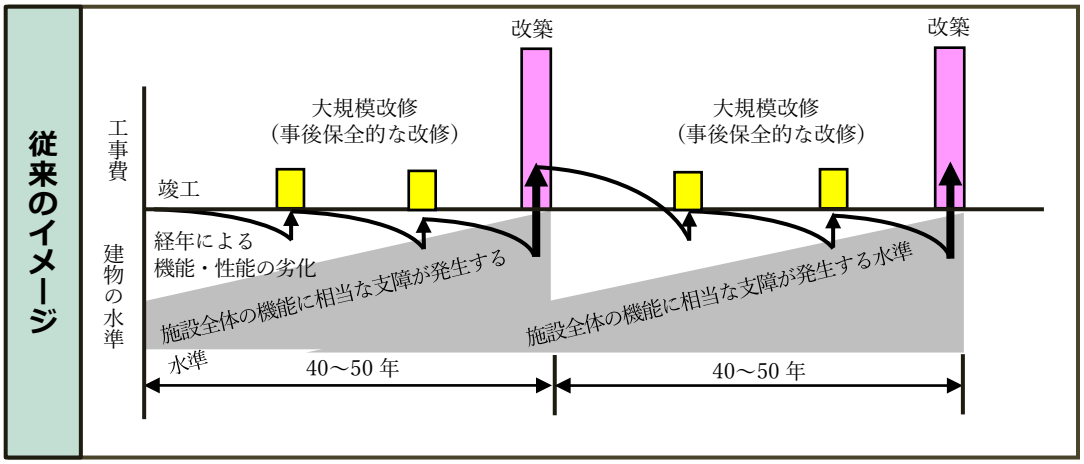


図７　従来型の改修周期のイメージ

(注9) 大規模改修：　事後保全の一つで、経年劣化などにより起こってくる建築物等の不具合や故障、機能低下について、それらを回復させるために行う大規模な改修工事のことです。それに合わせてトイレ改良のような機能向上を目的とした工事を行う場合もあります。

②今後の維持・更新コスト〈長寿命化型（予防保全型）〉

築25年に予防改修(注10)、築50年に長寿命化改修、築80年に改修という長寿命化型に移行した場合、今後40年間のコストは年間平均5.0億円、総額198.8億円が必要です。これは①の従来型に対して年平均1.5億円の縮減となります。

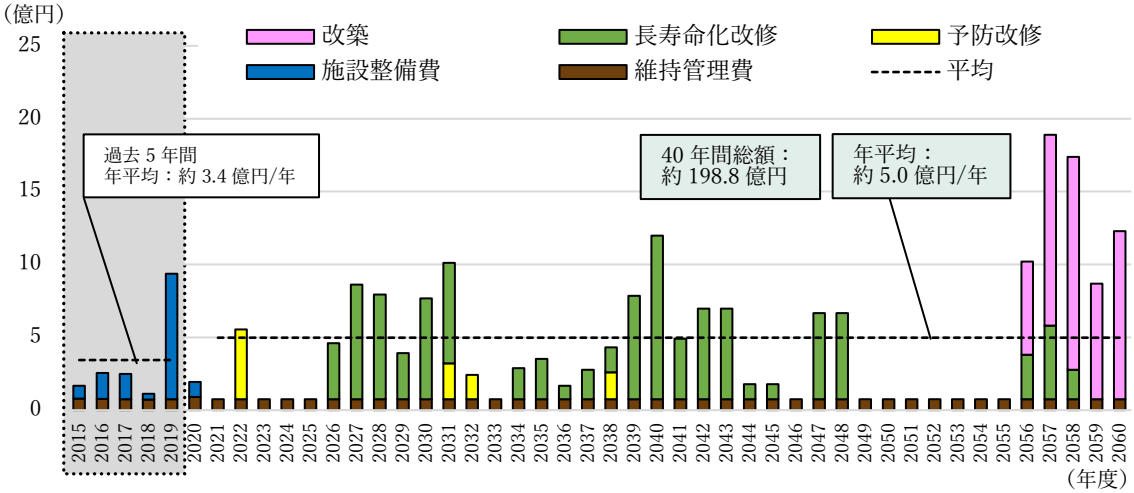


図８　長寿命化型の維持更新コスト

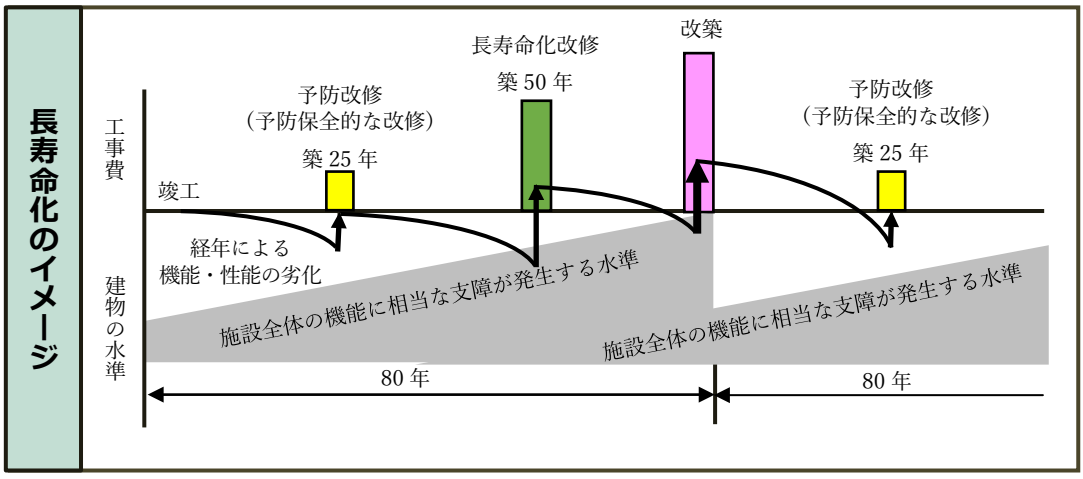


図９　長寿命化型の改修周期のイメージ

(注10) 予防改修：　長寿命化を図ることを前提として実施する予防保全を目的とした工事で、新築時から長寿命化改修時までの間、または長寿命化改修時から改築時までの間に実施します。改修内容は以下のような項目です。

・屋上防水や屋根の全面改修
・外壁の仕上げ材（タイルや塗装等）の更新
・躯体のひび割れの全面的な補修　　等

③検討の結果

従来型（事後保全型）と長寿命化型（予防保全型）と比較すると、今後40年間におけるコストの差は、下表のとおり長寿命化型が「約62.1億円」のコスト縮減が図れることになります。

表 12　従来型と長寿命化型とのコスト比較

過去5年間の年平均
約3.4億円

	40年間の総額	年平均
従来型	約260.7億円	約6.5億円/年
長寿命化型	約198.8億円	約5.0億円/年
縮減額	約62.1億円	約1.5億円/年

第４章　学校施設整備の基本的な方針等

4-1 学校施設の規模・配置計画等の方針

今後、さらに進展する少子化に対応するとともに、学校園が地域の中心的な施設であることに留意した施設づくりに努めます。

児童数等の減少が見込まれる地域にあっては、施設の規模や配置等を検討します。

それらにより利用しなくなった施設・建物は、地域活性化に向けた新たな活用を図っていく必要があります。今後閉校する六瀬中学校などにおいても、新たな施設利用を検討します。

また、余裕教室にあっては、コミュニティスクールの取り組みの中で、地域コミュニティ活性化のベーススペースとして積極的な活用を図ります。

4-2 改修等の基本的な方針

4-2-1 長寿命化の方針

施設の劣化・損傷が軽微な段階で、予防保全の考えに基づく修繕・改修を行い施設の長寿命化を図ります。

学校園は児童等が利用するだけではなく、地域の中心的な施設として多くの住民が利用する施設であることに留意し、安全・安心の確保を最優先とした改修を行います。

また、すべての小・中学校、幼稚園が災害時の避難所に指定されていることからも、改修計画にあたってはユニバーサルデザインの視点に立ち、誰もが円滑に利用できる施設づくりを目指します。

学校教育における食育を担う重要な拠点となる学校給食センターは、比較的新しい施設ですが、これについても予防保全に基づく長寿命化を図ります。

4-2-2 目標使用年数、改修周期の設定

①目標使用年数の設定

「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成27年4月 文部科学省）」には、「物理的な耐用年数は、適切な維持管理がされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70～80年程度、さらに、技術的には100年以上持たせるような長寿命化も可能である。」と示されています。その根拠となっているが、「建築物の耐久計画に関する考え方（一般社団法人日本建築学会、昭和63年）」です。その中で用途に応じて、構造別に目標耐用年数の級が設定されています。

これを踏まえ、長寿命化が可能な施設の使用年数の目標は「８０年」を目安とします。

表13　建築物全体の望ましい目標耐用年数の代表値

構造 ＼ 用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	高品質の場合	普通の品質の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
			高品質の場合	普通の品質の場合			
学校 官庁	100年以上	60年以上	100年以上	60年以上	40年以上	60年以上	60年以上
住宅 事務所 病院	100年以上	60年以上	100年以上	60年以上	40年以上	60年以上	40年以上
店舗 旅館 ホテル	100年以上	60年以上	100年以上	60年以上	40年以上	60年以上	40年以上
工場	40年以上	25年以上	40年以上	25年以上	25年以上	25年以上	25年以上

※「建築物の耐久計画に関する考え方（一社）日本建築学会」を参考に作成しました。

表14　目標耐用年数の範囲

代表値	下限値	上限値
150年	120年	200年
100年	80年	120年
60年	50年	80年
40年	30年	50年

※「建築物の耐久計画に関する考え方（一社）日本建築学会」を参考に作成しました。

②改修周期の設定

築25年未満の棟は健全度評価(図７参照)の結果、評価点が60点以上あり、比較的良好な状態といえます。このことから、当該棟は予防保全の考え方による改修を行うことで建物の長寿命化を図ります。改修を実施する基本的な周期は「25年」と設定し、80年の建物使用を目指します。

なお、現在すでに築35年以上が経過し早急に改修が必要な棟や、築25年未満の比較的良好な棟など、さまざまな状況にある棟が混在していることから、総合的かつ計画的に改修を進めていくために、すべての棟を次の「グループ１、２、３」の３つに分類し、整理を行います。

■グループ１：築30年未満

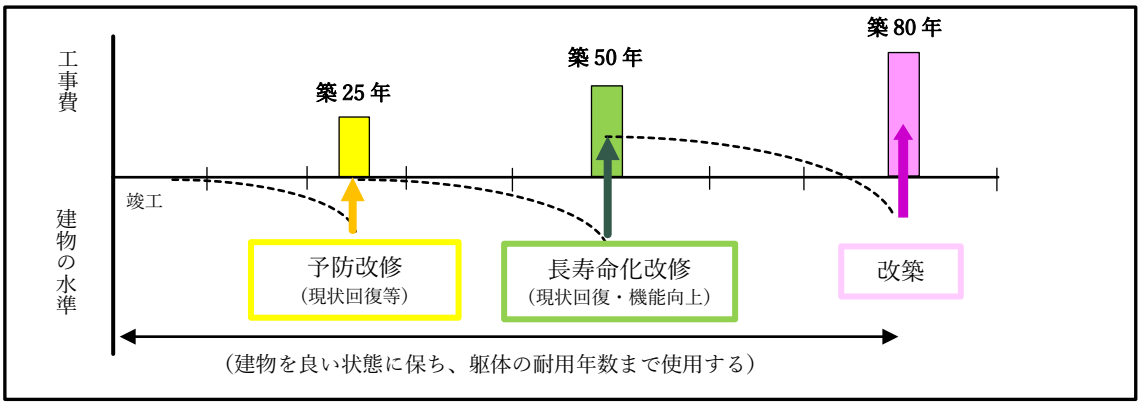
築25年程度：予防改修

築50年程度：長寿命化改修

築80年程度：改築

※猪名川中学校の校舎は、築30年超ですが大規模改修実施済み（平成26(2014)年度）のため、グループ１に位置付けます。

図表 19　グループ１：築 25 年-築 50 年-築 80 年周期



学校名	施設名	建築年度	築年数	改修履歴
1.楊津小学校	管理・教室棟	2007	14	
2.大島小学校	特別教室棟	2006	15	
3.白金小学校	管理・特別教室棟	1992	29	2019年度：屋根・屋上、外壁
	東校舎棟	1992	29	
	体育館	1992	29	
	西校舎棟	2006	15	
4.つつじが丘小学校	中央校舎棟(東)	1997	24	
	中央校舎棟(西)	1997	24	
	体育館	1997	24	2015年度：吊天井材撤去
	東校舎棟	2006	15	
	西校舎棟	2006	15	
5.猪名川中学校	管理・南教室棟	1989	32	2013年度：屋根・屋上、外壁
	体育館・武道場	1989	32	2014年度：吊天井材撤去 2019年度：屋根・屋上、外壁
	特別教室・北教室棟	1990	31	2014年度：内装
6.猪名川幼稚園	東園舎	1994	27	
7.六瀬幼稚園	園舎	1994	27	2012年度：屋上
8.学校給食センター	本館	2013	8	

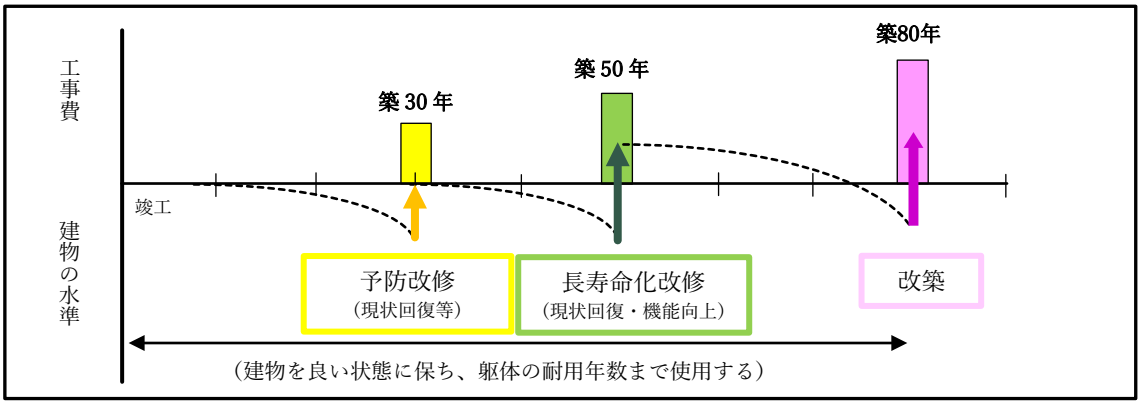
■**グループ２**：築 30 年以上から築 35 年未満

築30年程度：予防改修

築50年程度：長寿命化改修

築80年程度：改築

図表 20　グループ２：築 30 年−築 50 年−築 80 年周期



学校名	施設名	建築年度	築年数	改修履歴
1.楊津小学校	やないづ館	1989	32	2006年度：外壁、内壁
2.大島小学校	管理・教室棟	1987	34	2006年度：屋根・屋上、外壁
3.中谷中学校	武道場	1989	32	2004年度：床（貼替） 2014年度：吊天井材撤去

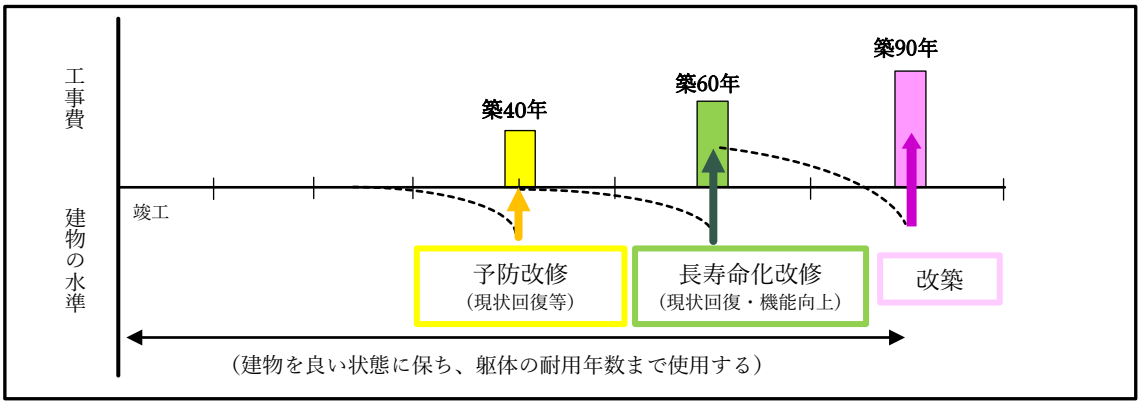
■グループ３：築 35 年以上

築40年程度：予防改修

築60年程度：長寿命化改修

築90年程度：改築

図表21　グループ３：築40年-築60年-築90年周期



学校名	施設名	建築年度	築年数	改修履歴
1.猪名川小学校	中央教室棟	1977	44	2000年度：外壁
	北教室棟	1977	44	
	管理・南教室棟	1978	43	
	体育館	1978	43	2000年度：屋根・屋上、外壁 2016年度：床（改修）
2.楊津小学校	体育館	1985	36	
3.大島小学校	体育館	1984	37	
4.松尾台小学校	管理棟	1976	45	2001年度：外壁、内装
	北校舎棟	1976	45	
	中央校舎棟	1976	45	
	体育館	1978	43	2019年度：屋上
	南校舎棟	1980	41	2001年度：外壁、内装
5.中谷中学校	中央校舎棟	1980	41	
	管理・西教室棟	1980	41	
	体育館	1980	41	
	東校舎棟	1984	37	
6.猪名川幼稚園	西園舎	1986	35	

第５章　基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5-1 改修等の整備水準

改修等の実施に当たっては、単に数十年前の建築時の状態に戻すのではなく、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など現代の社会的な要請に応じます。

また、すべての小・中学校、幼稚園が、避難所に指定されていることからも、災害時の利用に支障をきたさないように、ユニバーサルデザインや衛生設備等の充実を目指します。

表 15　部位別整備水準と効果

部位	整備水準等	効果
躯体	・躯体の状況に応じた適切な補修 （コンクリートのひび割れ･中性化防止対策、鉄筋･鉄骨の防錆対策 など）	躯体の長寿命化
屋上	・防水改修（断熱工法の採用） ・手すり等の更新	防水性･遮熱性の向上 安全性の向上
屋根	・塗装の更新 ・老朽部(又は全面)の葺き替え（断熱工法の採用）	防水性･遮熱性の向上
外壁	・塗装の改修（高機能塗料の採用） ・タイル面等の状況に応じた適切な補修	対候性･遮熱性の向上 安全性の向上
建具	・ガラスの更新（強化･複層ガラスの採用）	安全性･気密性･遮熱性･遮音性の向上
内装	・床･壁･天井仕上げの更新 ・自然素材の利用（腰壁や床の木質化など）	室内環境の向上
電気設備	・受変電設備、分電盤等、配管･配線などの更新 ・太陽光発電設備、省電力機器の導入	安全性の向上、省エネ対策
照明設備	・LED 照明への更新	省エネ対策
消防設備	・火災警報設備、非常放送設備などの更新 ・消火ポンプの更新	安全性の向上
給排水設備	・受水槽などの更新 ・適切な給水方式への改善 ・給排水管、水栓の更新	安全性、衛生環境の向上
空調設備	・体育館･特別教室等の空調設備整備 ・熱交換型換気装置の設置	室内環境の向上、省エネ対策
トイレ	・床の乾式化、大便器の洋式化	衛生環境の向上
ユニバーサルデザイン	・段差の解消（スロープの設置など） ・エレベーターの整備 ・多目的トイレの整備 ・適切な案内サイン等の設置	利用環境の向上
その他	・情報ネットワークの整備 ・情報機器の導入	学習環境の向上

5-2 維持管理の項目・手法等

本計画は、現在の学校施設の老朽化状況の実態を把握した上で策定しました。今後は、本計画に基づいて学校施設等を維持管理・更新していきます。

しかし、建築物や建築設備は日々劣化が進み、各所で故障が発生します。そして、その発見が遅れることが重大な事故・故障につながる可能性があります。

早期にそれを発見し、対処・改善していくために、町教育委員会や施設管理者(学校園等)、その他関係者(専門業者等)による日常点検・定期点検を実施します。これは、不具合を早期に発見し、突発的な事故・故障を防止するとともに、施設の安全確保・緊急対応に要する費用の縮減に役立ちます。

日常点検・定期点検の結果(点検チェックシート、写真等)は、今後の維持管理を効率的に実施するために関係者間で情報共有します。

5-2-1 施設管理者が実施する点検

施設管理者は、学校保健安全法に基づき、日常点検を実施し、異常がある場合は、施設所管課に連絡し、適切な修繕等の実施を要請します。

表 16　日常点検の箇所・項目（例）

点検箇所	点検項目	対応
屋上	・排水ドレンや側溝の汚れ ・目地や樋の詰まり	スコップなどで落ち葉や土・埃等を取り除く。
	・パラペットの亀裂・損傷 ・笠木や金属類、雨樋、取付け金物のゆるみ、ぐらつき、腐食、変形 ・トップライトの損傷、割れ	破片等の落下の危険がある場合は、落下地点にカラーコーン等で近寄れないようにする。
外壁	・外壁や庇の亀裂・浮き ・高所に設置されているスピーカー、照明器具、金物等の劣化	落下の危険な箇所には、カラーコーンやプランター、鉢植えを置くなど、人が近寄れないようにする。
内部	・建具の不具合・変形・損傷	取手や金具等を取り替える。 割れたガラスは、早めに取り替える。応急措置として、ガムテープ等で止めるか、段ボール等で覆う。
	・照明器具、案内表示板等の取付け部の劣化	落下の危険な箇所には、カラーコーンやプランター、鉢植えを置くなど、人が近寄れないようにする。
	・ガス漏れ警報器の稼働状況、有効期限	施設所管課に連絡するか専門業者に確認してもらう。
	・非常用照明や誘導灯の動作不良、バッテリー切れ	電球が切れている場合は電球を交換する。電球を交換しても点かない場合は電池の寿命であることが多いので電池を交換する。

点検箇所	点検項目	対応
内部	・照明器具の不具合	電球を交換する。
	・木製の床、壁のささくれ	危険がないようにガムテープ等を貼るか危険な突起物を除去する等の適切な処置をする。
	・トイレのレバーや洗面台等の水栓からの漏水	タオルを敷く等で、床濡れを防止する。
	・コンセントの差込口のひび割れやプラグのぐらつき	使用中止する。
	・換気扇の異音	モーターの軸部に潤滑油を拭き付ける。
屋外階段	・コンクリートの亀裂 ・鉄骨の錆	錆が進行しないうちに塗装を塗り替える。
	・手すりの接続部の腐食によるぐらつき	手すりにもたれかからないように、貼紙等で注意喚起する。
設備	・空調室外機の異音、異臭、異振動	運転の停止
	・ポンプ、タンク類の警報ランプ ・ポンプの異音、異臭、異振動 ・タンク類の蓋等の破損や施錠 ・高架水槽、受水槽の警報ランプ ・水槽類の蓋等の破損や施錠 ・水槽のオーバーフロー管からの多量の流水 ・キュービクルの異音、異臭、異振動及び施錠 ・分電盤、配電盤の異音、異臭、発熱	施設所管課に連絡する。

5-2-2 専門技術者が実施する点検（法定点検）

すべての施設に建築基準法等に基づく各種の定期点検が義務付けられています。これらの点検は有資格者により実施され、施設が健全に保守管理されているかの確認が行われます。点検対象設備等は下表に掲げるものなどがあり、その結果は町教育委員会から所轄官庁に報告します。

表 17　実施する主な法定点検

基準となる法律	点検対象等	調査の期間
建築基準法	建築物の構造等	１回/３年
	建築設備及び防火設備	１回/年 ※昇降機は、１回/年
消防法	消防用設備	１回/６ヵ月～１年
電気事業法	自家用電気工作物（キュービクル等）	１回/月
水道法	水質	１回/年

第６章　長寿命化の実施計画

6-1 実施計画

「第３章学校施設の実態」、「第４章学校施設整備の基本的な方針」に基づき各学校園の改修方針（表18参照）を設定しました。それに基づき、今後５年間の実施計画（表19参照）を作成しました。

表 18　各学校園の改修方針

学校園名	改修方針
●猪名川小学校 ●松尾台小学校	築40年以上経過した建物ですが、過去に実施した耐震性能診断に基づく耐震補強工事により、構造躯体は良好な状態を維持していると考えられます。 躯体以外の部位は経年劣化が生じていますが、早急に予防改修を行うことで少なくとも20年間は、長寿命化改修が可能な程度に劣化を抑えられることが見込まれます。 その後、築60年程度で長寿命化改修を実施し、最終的に築90年程度の施設利用を目指します。
●楊津小学校 ●大島小学校	日常・定期点検及び劣化度調査の結果からも、構造躯体等に深刻な劣化は確認されておらず、良好な状態を維持しています。 今後は、財政状況と他施設の改修計画との調整を行いながら、築30年程度で予防改修、築50年程度で長寿命化改修を実施し、最終的に築80年以上の施設利用を目指します。
●白金小学校 ●つつじが丘小学校 ●六瀬幼稚園	日常・定期点検及び劣化度調査の結果からも、構造躯体等に深刻な劣化は確認されておらず、良好な状態を維持しています。 今後は、財政状況と他施設の改修計画との調整を行いながら、築25年程度で予防改修、築50年程度で長寿命化改修を実施し、最終的に築80年以上の施設利用を目指します。
●中谷中学校 （清陵中学校）	築40年以上経過した建物ですが、過去に実施した耐震性能診断に基づく耐震補強工事により、構造躯体は良好な状態を維持していると考えられます。 躯体以外の部位については、外壁の一部に劣化が見られますが施設の使用に影響する劣化は確認されておらず、早急に予防改修を行うことで少なくとも20年間は、長寿命化改修が可能な程度に劣化を抑えられることが見込まれます。 その後、築60年程度で長寿命化改修を実施し、最終的に築90年程度の施設利用を目指します。
●猪名川中学校	平成25(2013)～平成26(2014)年度にかけて大規模な内外装改修を実施しており、構造躯体等は良好な状態を維持しています。 今後は、財政状況と他施設の改修計画との調整を行いながら、築25年程度で予防改修、築50年程度で長寿命化改修を実施し、最終的に築80年以上の施設利用を目指します。
●猪名川幼稚園	日常・定期点検及び劣化度調査の結果からも、構造躯体等に深刻な劣化は確認されておらず、良好な状態を維持しています。 早急に予防改修を行うことで、少なくとも20年間は、長寿命化改修が可能な程度に劣化を抑えられることが見込まれます。 その後、築50年程度で長寿命化改修を実施し、最終的に築80年程度の施設利用を目指します。

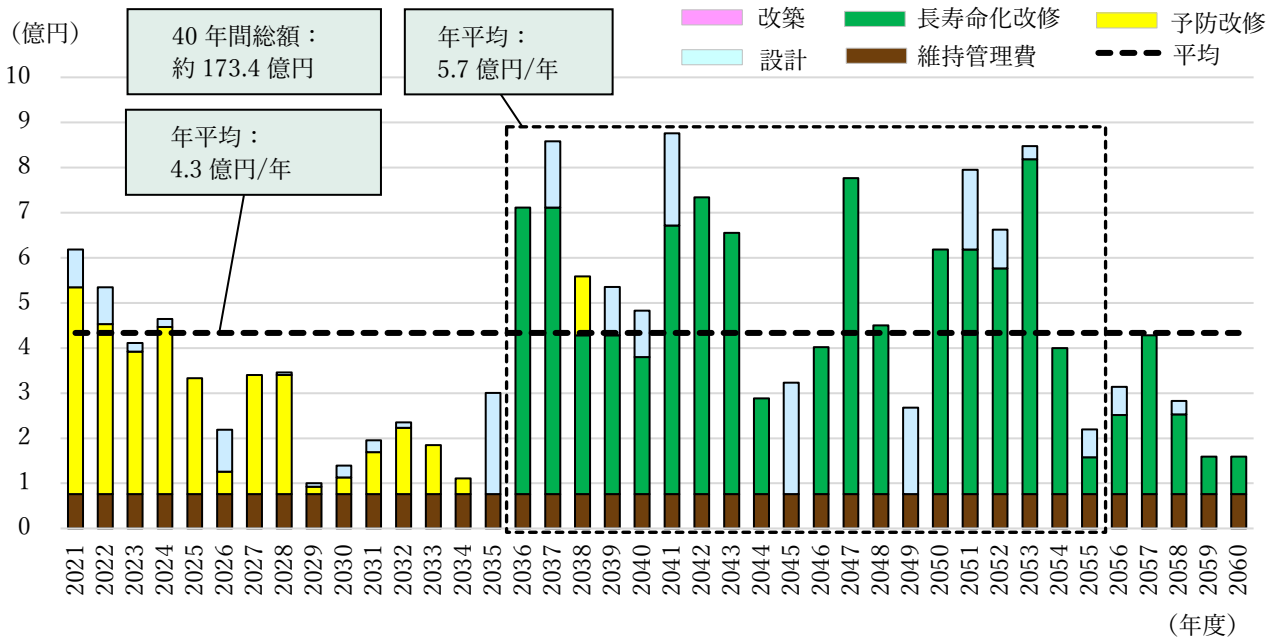
表 19　今後５年間の実施計画

学校名	建物名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
猪名川小学校	中央教室棟	設　計	予防改修			
	北教室棟	設　計	予防改修			
	管理・南教室棟	設　計		予防改修		
	体育館	設　計		予防改修		
楊津小学校	体育館				設　計	予防改修
大島小学校	体育館			設　計	予防改修	
松尾台小学校	管理棟		設　計	予防改修		
	北校舎棟		設　計	予防改修		
	中央校舎棟		設　計		予防改修	
	体育館		設　計		予防改修	
	南校舎棟		設　計		予防改修	
白金小学校	東校舎棟	予防改修				
	体育館	予防改修				
つつじが丘小学校						
中谷中学校(清陵中学校)	管理・西教室棟	予防改修				
	中央校舎棟	予防改修				
	体育館				設　計	予防改修
	東校舎棟	予防改修				
	武道場	予防改修				
猪名川中学校						
猪名川幼稚園	西園舎	予防改修				
	東園舎	予防改修				
六瀬幼稚園	園舎			設　計	予防改修	
学校給食センター						

6-2 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

第４章で改修周期の方針により位置付けたグループ分けに基づいて今後40年間の施設整備費及び維持管理費の試算結果を以下に示します。

図表22　今後40年間の維持管理コスト試算



（単位：百万円）

	2021～2025年度	2026～2030年度	2031～2035年度	2036～2040年度	2041～2045年度	2046～2050年度	2051～2055年度	2056～2060年度	合計
改築	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長寿命化改修	0	0	0	2,278	2,045	1,944	2,192	871	9,330
予防改修	1,779	632	383	131	0	0	0	0	2,925
設計	202	132	262	358	452	192	353	92	2,043
維持管理費	380	380	380	380	380	380	380	380	3.040
合計	2,361	1,144	1,026	3,146	2,877	2,515	2,925	1,343	17,338

「第４章 学校施設整備の基本的な方針」により試算した結果、今後40年間にかかる費用は約173.4億円で年平均約4.3億円となり一定のコスト縮減は図れますが、今後の人口減少、少子高齢化による税収の減少、多様な社会ニーズの高まり等を考慮すると、さらなる維持管理コストの縮減策を検討していく必要があります。

実施計画策定後の課題としては、令和18(2036)年から令和37(2055)年までの間で多くの施設が長寿命化改修の時期になり、年平均が5.7億円を超える費用が必要になります。

このことを想定し、今後の維持管理コストを縮減するためには、学校施設の配置や規模だけでなく、町の公共施設全体のあり方について多面的に検討していく必要があります。

第７章　長寿命化計画の継続的運用方針

本計画は、５年を単位に見直すことを基本とします。また、町の財政状況や制度変更等に合せて適宜見直しを行い、上位計画である総合管理計画や財政見通し等への反映を行います。

7-1 情報基盤の一元化と活用

本計画を推進する上では、施設管理に関する情報の蓄積が重要となります。

学校施設を適切に管理していくため、過去の改修・修繕履歴や各施設の状態などを情報として蓄積し、適宜更新をします。予防保全型コスト算定や継続的な施設管理に活用できるよう、最新情報の一元管理をするよう運営します。

7-2 推進体制等の整備

学校施設の長寿命化計画を継続的に運営していくために、町教育委員会が中心となり施設管理者や関係部局と連携・協力し、全庁的な体制で取り組みます。

また、この取り組みの基本となる学校施設の維持管理については、日常点検や保守点検業務委託による各種点検報告書を活用して、施設の維持保全に努めます。

7-3 フォローアップ

本計画で対象とする学校施設は、施設の長寿命化を基本としていますが、将来の学校教育等を取り巻く環境の変化や児童数等の変動、本町の財政状況等によって随時対応する必要があります。上位計画である総合管理計画との整合を図りつつ、学校施設整備を進めていくためには、

計画（Plan）→ 実施（Do）→ 評価（Check）→改善（Action）

のサイクルを確立し、適切な進行管理を行います。

計画（Ｐ）：施設の現状を踏まえた実施計画の策定
実施（Ｄ）：点検・診断の実施、改修等の実施、施設情報データの蓄積
評価（Ｃ）：児童数等の推移、修繕改修状況、施設評価
改善（Ａ）：修繕改修・機能集約・再編等の検討

猪名川町学校施設長寿命化計画
令和３年１月

猪名川町教育委員会
〒666-0292
兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1
TEL：(072) 766 - 6000
FAX：(072) 766 - 8904